

埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画(第2期 R6~R8)



目次

1. はじめに	2
2. 計画概要	3
3. デジタルトランスフォーメーション(DX)とは	4
4. 本県がDXで目指す将来像	5
5. DXの推進に向けて	6
6. 第2期DX推進計画のポイント	10
7. DXビジョンとロードマップについて	14
8. DXビジョンの構成	15
9. DXビジョンの見方	17
10. DXビジョン詳細	18
総合ビジョン	18
対象別ビジョン	24
県民サービスビジョン	24
事業者サービスビジョン	25
行政事務ビジョン	26
分野別ビジョン	30
防災ビジョン	30
環境ビジョン	31
福祉ビジョン	32
保健医療ビジョン	35
産業ビジョン	37
農業・林業ビジョン	38
都市整備・建設・公共インフラビジョン	40
教育ビジョン	43
安心・安全ビジョン	45

11. DXビジョン事例	46
総合ビジョン	46
対象別ビジョン	50
県民サービスビジョン	50
事業者サービスビジョン	51
行政事務ビジョン	53
分野別ビジョン	54
防災ビジョン	54
環境ビジョン	55
福祉ビジョン	57
保健医療ビジョン	61
産業ビジョン	63
農業・林業ビジョン	65
都市整備・建設・公共インフラビジョン	67
教育ビジョン	71
安心・安全ビジョン	73
12. 用語集	74

1. はじめに

計画策定の趣旨

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を契機に、社会のデジタル化が急速に進み、働き方や仕事の進め方、コミュニケーションの在り方は大きく変わりました。

私たちはコロナ禍を奇貨として進んだ変革を後戻りさせることなく、10年後、20年後を見据え、持続的に発展していく社会を構築しなければなりません。

人口が減少し、75歳以上の高齢者が全国一のスピードで増加する中、社会の活力を維持するには、**デジタルを活用して生産性を高め、より便利で付加価値の高いサービスを創造**する必要があります。

デジタルで社会を変革する「DX」は、一朝一夕で実現するものではなく、また、専門知識を持つ一部の職員に任せておけば出来上がるものでもありません。**すべての職員が「自分ごと」としてデジタル化に真摯に取り組み、挑戦と試行錯誤を積み重ねながら成し遂げるのがDX**です。

長く険しいDX実現までの道のりを、全職員がワンチームとなって歩んでいけるよう、**本県では3つのステップを設け、段階的に取組を進めることとしました。**

第1ステップのデジタイゼーションは「**アナログからデジタルへの転換**」です。

ペーパーレス化やウェブ会議の活用重点的に取り組んだ結果、コピー使用量は4年間で約6割減少し、在宅勤務も急速に普及しました。

次の**第2ステップのデジタライゼーション**とは、**業務プロセスの改革と県民サービスの向上**です。

デジタルを前提に従来の仕事のやり方を根本から見直し、生成AIなどのツールを活用するタスクと人が担うべき業務を見極め、業務効率を高めるとともに、県民サービスをより便利なものに変えていきます。

デジタルを前提に仕事や県庁の在り方を根本から変革するDXの第3ステップも視野に入れつつ、**第2ステップの取組を体系的かつ強力で推進**するため、本計画では**今後3年間において展開する施策**を明らかにします。

2. 計画概要

(1) 計画期間

令和6年度(2024年度)から令和8年度(2026年度)までの3か年

(2) 計画の位置づけ

DXの実現には中長期にわたる取組が必要となる一方、デジタル技術は日進月歩で進歩しており、めまぐるしい情勢変化に的確に対応することが必要です。このため、短いサイクルで的確な見直しを行えるよう、本計画は3年間のアクションプランとします。

本計画では、県のサービスや行政事務のDXに向けた取組の方向性を明らかにするとともに、官民データ活用推進基本法第9条第1項に規定する官民データ活用推進計画として策定します。

3. デジタルトランスフォーメーション(DX)とは

(1) デジタルトランスフォーメーション(DX)の定義

デジタル(Digital)と、変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)を組み合わせで作られた造語。

デジタルを活用して様々なモノやサービスの効率や利便性を高め、新たなサービスや価値を生み出す変革や、それらの変革が実現した状況を指します。

(2) DXへの3ステップ

DXの実現までには、「デジタイゼーション」「デジタルライゼーション」「デジタルトランスフォーメーション」の3つのステップがあります。本県では全庁ワンチームとなって着実にDX実現への取組を進めるため、各段階に応じた施策や工程を共有し、計画的に取り組めます。



4. 本県がDXで目指す将来像

(1) 本県の目指す将来像

本県がDXの取組を通じて目指す将来像は、

「**社会全体のデジタルトランスフォーメーションの実現による、快適で豊かな真に暮らしやすい新しい埼玉県への変革**」です。

人口減少や急速な高齢化が進む中、様々な社会課題を解決するツールであるデジタル技術を社会に浸透させ、便利で快適な生活基盤を確保するとともに、これまでなかった新たなサービスを創出することで、誰一人取り残されることのない持続的に発展する活力ある社会を築いていきます。

(2) 将来像実現へのアプローチ

行政サービスの対象や分野は多岐にわたるため、将来像の実現に向けた取組を体系的かつ計画的に進めていくには、対象や分野ごとにそれぞれの将来像と取組を明確化し、情報を共有しながら相互の連携・調整を図ることが重要となります。

そこで、目指す将来像を対象や分野別に細分化し整理したものを「DXビジョン」とし、それぞれのDXビジョンを実現するための工程やKPIをバックカスティングにより明確化したものを「ロードマップ」として整理しました。

各DXビジョンとロードマップは、情勢の変化等に応じてアップデートし、常に最新の状況を踏まえた的確な取組を推進していきます。

また、各施策の実施により得られた成果を的確に予算や組織、事業の実施方法に反映させ、より効率的・効果的な行政を実現していきます。

5. DXの推進に向けて

(1)DX推進の基本的な考え方

DXとは単にデジタルを導入することではなく、デジタルを基本に従来のやり方や仕組みを変え、新たな価値やサービスの提供を目指すものです。本県では、次の考え方にに基づき、取組を進めていきます。

① 行政手続のオンライン化の推進

様々な手続をオンライン化して申請等の効率化を図るとともに、利用者にとってより便利なサービスへと変え、最終的にはスマートフォン等であらゆる手続が完結することを目指します。オンライン化に当たっては、デジタルファースト(手続やサービスがデジタルで完結)、ワンスオンリー(1度提出した情報は2度提出が不要)、コネクテッド・ワンストップ(民間を含む複数の手続・サービスを一元化)に配慮します。

② データをオープンにし、誰でも扱いやすくする

新たな価値を生み出す源泉となるデータを、扱いやすく標準化された形式・方法で、誰もが安心して効率的に使えるよう、各府省や県・市町村が連携してデータ連携の基盤構築やルール整備等に取り組めます。また、誰もが利用しやすい形で必要な情報にアクセスできるよう、公共データのオープンデータ化を進め、データの利活用を促進します。

③ 一人一人のニーズに合ったサービスを実現

デジタルを活用したデータ連携・活用により、これまでは不可能だった「個人のニーズに合った最適なサービスの提供」が可能となります。健康・医療、福祉、教育、防災など、一人一人の暮らしに関わるデータを連携することで、一人一人のニーズに応じた最適なサービスの提供を目指します。

5. DXの推進に向けて

(1)DX推進の基本的な考え方(続き)

④ 誰一人取り残されないデジタル社会の構築

利用者の目線に立ち、ITに不慣れな方も含めて、誰もがデジタルを活用できるよう、サービス利用の際の利便性や操作性等に十分配慮し、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるようにします。

⑤ デジタル化と規制改革の一体的推進

デジタル化の推進とともに、アナログ規制などデジタル化を阻む課題の解消を「車の両輪」として、一体的に推進します。

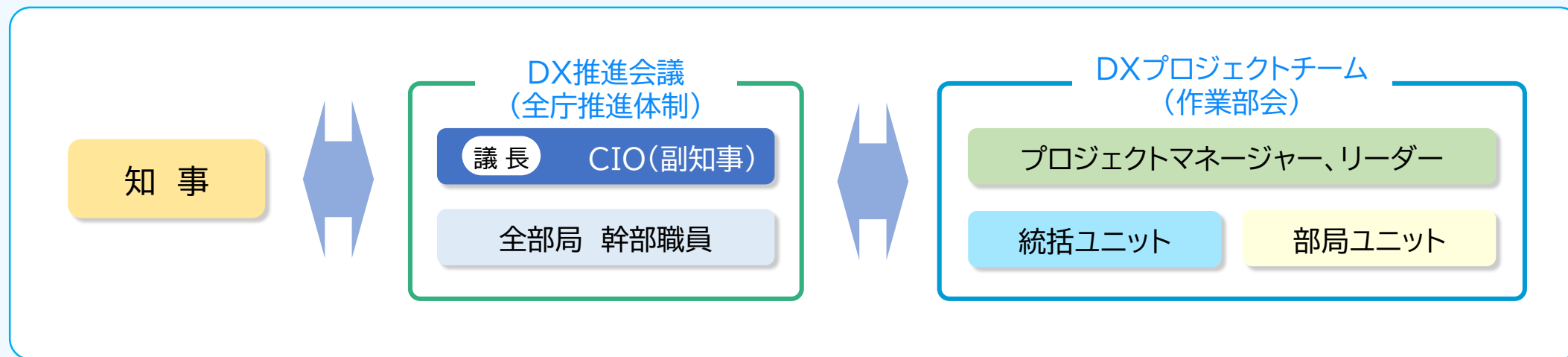
⑥ 職員のスキルを高め、全員でDXを推進

DXを他人任せにせず、自分ごととして取り組めるよう、職員のスキルアップとデジタルツールの普及と有効活用を図ります。

5. DXの推進に向けて

(2) 推進体制

- 知事をトップとした全庁推進体制のもと、知事自ら変革を指揮し、目指す将来像等にコミットすることにより、計画の実行性を確保します。
- 副知事(CIO)及び各部局の幹部職員で構成する「DX推進会議」を設置し、知事の指揮のもと、分野や組織の枠を越えた事業間連携を図り、様々なサービスやデータの連携により相乗的な効果を発揮できるようにします。
- 中堅・若手職員で構成するDXプロジェクトチームを設置し、分野ごとに目指すべきビジョンや新たな事業等の議論・検討を通じて、ボトムアップ型の自律的・主体的なDXの取組を推進します。
- デジタルに関する高度な知見を有する専門家等の外部人材の力を活用し、施策の立案や実施・見直しに生かしていきます。



5. DXの推進に向けて

(3)DXの3ステップにおける第2期計画の位置付け

第1期DX推進計画は、DXへの基礎固めとして、庁内推進体制を構築し、第1ステップ「アナログからデジタルへの転換」に重点的に取り組みました。第2期計画では第1ステップの取組の成果を生かしつつ、新たに第2ステップの取組を加え、デジタルを活用した業務プロセス改革と県民サービスの向上に取り組みます。



6. 第2期DX推進計画のポイント

(1)第1期DX推進計画(R3~5年度)の主な成果

第1期計画はDXへの第1歩としてペーパーレス化をはじめとする「アナログからデジタルへの転換」に重点的に取り組みました。

① 庁内のペーパーレス化の実現

DXへの第1段階として、情報のやり取りを紙からオンラインに置き換えるペーパーレス化を推進しました。

ペーパーレス化支援ツールの導入やペーパーレス化の徹底、コロナ禍による在宅勤務の急速な拡大もあいまって、コピーの使用量は4年間で知事部局平均約60%減少、モデル課では98%と大幅に減少しました。



② 会議のWEB化やテレワークの拡大

約1万3千人の職員全てが、いつでもウェブ会議ツールを利用できる環境を整備し、リモートによる会議や研修の実施割合は令和元年度の1%から令和4年度には64%へと拡大しました。職員はパソコンがあれば、在宅勤務や出張中でも打ち合わせや会議に参加でき、場所を選ばずにスムーズに仕事ができるようになりました。

6. 第2期DX推進計画のポイント

(1)第1期DX推進計画(R3~5年度)の主な成果(続き)

③ 行政手続のオンライン化の拡大

オンラインで行える行政手続の割合は、令和2年1月の8%から令和5年4月では77%に拡大しました。また、県と市町村等が共同で運用している電子申請システムの利用件数も令和元年度の41万件から令和4年度は169万件に増加しました。

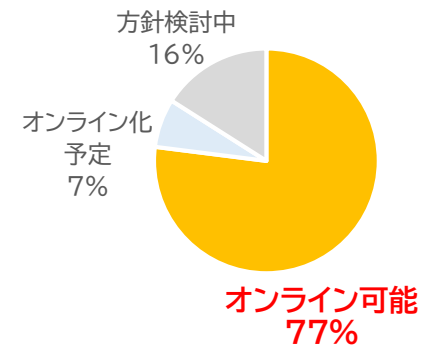
県のオンライン化を阻害する主な要因

- 電子化できない書面の提出が必要 約24%
- 対面による本人確認が必要 約11% 等

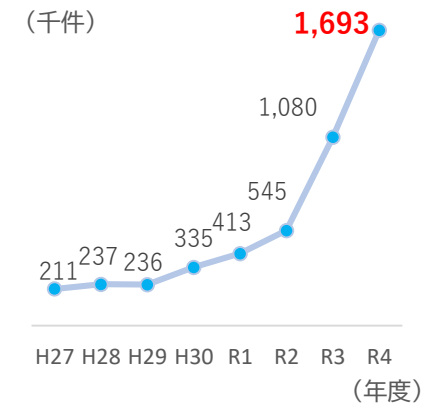
④ DXプロジェクトによる機運の醸成

DXの取組を全庁で展開するため、中堅・若手職員を中心とするDXプロジェクトを立ち上げました。プロジェクトに参加する職員は、初年度の令和3年度は266名、令和4年度は400名、令和5年度は442名と年々増加し、知事等幹部を交えた議論を重ねながら、DXビジョンやロードマップの策定、新規事業の立案等を実現しました。

行政手続のオンライン化状況 (R5.4月)



電子申請システムの利用件数



6. 第2期DX推進計画のポイント

(2) 第2期DX推進計画(R6~8年度)の主なテーマ

第1期計画の3年間でDXへの第1ステップ「アナログからデジタルへの転換」が進み、DXの基礎固めができたことから、第2期計画では次の第2ステップ(デジタルイゼーション)の取組を本格化します。

第2ステップのポイントは「**業務プロセス改革**」と「**県民サービスの向上**」です。単にアナログ(紙)をデジタルに置き換えるのではなく、デジタルをベースに仕事のやり方を変え、生成AIなどを活用して業務効率を高めていきます。そこで生み出した時間をフェイス・トゥ・フェイスで丁寧に対応すべき仕事や、AI・ロボットには対応が難しい「人間にしかできない創造的な仕事」に振り向け、県民や事業者が「デジタル化で便利になった」と実感できるよう、県民サービスをより便利なものへと変えていきます。

① デジタルツールの更なる活用とタスク・トランスフォーメーション(TX)の推進

生成AIやノーコードツール等を効果的に活用し、定型・非定型業務の効率化を図ります。

職員(人間)が行うべき業務と、生成AI等に委ねることで効率化が可能な業務を見極め(仕分け)るとともに、的確なプロンプト(指示)やアプリの構築等に必要となる職員のスキルを高めます。実践的なIT研修やIT資格取得支援等を通じたリスキリング、クリアランス制度の的確な運用などデジタル人材の計画的な育成・確保とともに、優良事例の横展開を推進します。

② ユーザビリティを含む県民サービスの向上

申請手続のオンライン化、キャッシュレス化の推進等などにより、いつでもどこでも手軽に手続を行える利便性の向上とともに、バックオフィスのデータ連携による添付書類等の省略、ワンストップ・ワンズオンリーサービスの実現を図ります。

また、デジタルに不慣れな利用者も含め、誰でも操作しやすいシステムの構築や画面設計など、ユーザビリティ(使い勝手)に配慮した取組を推進します。

6. 第2期DX推進計画のポイント

(2)第2期DX推進計画(R6~8年度)の主なテーマ(続き)

③ データの収集・分析・活用の推進

官民の様々なデータを活用することにより、業務の効率化や新たなサービスの提供が可能となり、データやエビデンスに基づく政策立案(EBPM)の強化にもつながります。このため、データの収集・連携・利活用の拡大とともに、分析結果を踏まえた最適な施策立案に取り組めます。

④ 「働き方改革」等と連携した未来のオフィスの構想

デジタルツールを効果的に活用することにより、時間や場所の制約にとらわれることなく、より柔軟で効率的な働き方が可能になります。メタバース空間や遠隔臨場技術など新たなツールの活用、本庁・地域機関の最適な業務分担の在り方など、未来のオフィスの在り方について研究・検討を深めていきます。

⑤ 規制改革とデジタル改革の一体的推進

「目視」「書面掲示」のように人や紙の介在を前提とする、いわゆる「アナログ規制」の見直しが進んでいます。デジタル化の阻害要因でもあるアナログ規制の見直しと、デジタルをベースとした業務プロセス改革を一体的かつ横断的に推進することにより、DXの取組を加速していきます。

⑥ 国・市町村等との連携強化

国・県・市町村や官民の枠組みを超えて、データの連携や有効活用を図るため、県が保有する情報のオープンデータ化を推進するとともに、情報基盤を活用した国や市町村、民間サービスとの連携を進めます。

また、県全体のDXを実現するには県のみならず、市町村や事業者など様々な事業活動を担う主体のDXも不可欠です。このため、県におけるデジタル化の実践経験等を生かしながら、市町村や事業者等のDXの取組への支援を強化します。

7. DXビジョンとロードマップについて

DXビジョンとロードマップの位置づけ

DX推進計画に掲げた将来像の実現を目指すには、DXを進める対象や分野ごとにそれぞれの将来像と取組を明確化し、情報を共有しながら相互の連携・調整を図ることが重要です。そこで、目指す将来像を対象や分野別に細分化し整理したものを「DXビジョン」とし、それぞれのDXビジョンを実現するための工程やKPIをバックカスティングで明確化したものを「ロードマップ」として整理しました。各DXビジョンとロードマップは、情勢の変化等に応じてアップデートし、常に最新の状況を踏まえた的確な取組を推進していきます。

DX推進計画

(本県の目指す将来像)

社会全体のDXの実現による
快適で豊かな真に暮らしやすい
新しい埼玉県への変革



DXビジョン

目指す将来像を対象や分野別に細分化し整理

総合ビジョン

県全体で共通に目指すビジョン

対象別ビジョン

県民サービス／事業者サービス／行政事務

分野別ビジョン

防災／環境／福祉／保健医療／産業／農業・林業
／都市整備・建設・公共インフラ／教育／安心・安全

ロードマップ(別冊)

工程やKPIをバックカスティングにより明確化

3年間の工程表

3年間の工程表

3年間の工程表

KPIを設定し、毎年度進捗把握
必要に応じて見直し

8. DXビジョンの構成

(1)DXビジョンの分類

行政サービスの対象や分野は多岐にわたることから、将来像の実現に向けた取組を体系的かつ計画的に進めていくため、対象・分野など3つの異なる視点からそれぞれの将来像と取組を明確化し、情報を共有しながら相互の連携・調整を図ることとしました。

- 県全体で共通に取り組むもの 総合ビジョン
- 県が行う事務の対象別に区分したもの 3つの対象別ビジョン
- 政策分野別に区分したもの 9つの分野別ビジョン

(2)DXビジョンの内容一覧

総合ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルでつながる ～県民・事業者・行政がデジタルでつながる便利で暮らしやすい埼玉県へ～ • 官民データの活用 ～様々なデータを活用し、高度なサービスを提供できる埼玉県へ～ • サイバー空間とフィジカル空間の融合 ～新たな空間で活動やビジネスのチャンスが広がる埼玉県へ～ • デジタルインフラの確立 ～安全で快適なサービスを支えるデジタル基盤が確立した埼玉県へ～ 	
対象別ビジョン	県民サービス	• もっと便利で、安心・安全に暮らしやすい県民サービスが提供される埼玉県へ
	事業者サービス	• デジタルの力でビジネスを進化・効率化できる埼玉県へ
	行政事務	• 執務環境の効率化と次世代ワークスタイルの実現によるハイクオリティな埼玉県庁へ

8. DXビジョンの構成

(2)DXビジョンの内容一覧

分野別ビジョン	防災	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用し、全ての県民の安心・安全を支える埼玉県へ
	環境	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用によりカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブの構築を進める埼玉県へ
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> AI等の活用により福祉現場の人材確保・定着とサービスの質を向上させる埼玉県へ サイバー空間とフィジカル空間が繋がり、障害の有無にかかわらず誰もが活躍できる埼玉県へ デジタルの活用により子供の命が守られ、誰もが希望を持てる埼玉県へ
	保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの活用により健康増進への行動変容を促し、誰もが健康な埼玉県へ デジタルの活用により誰もが安心して元気に暮らせる埼玉県へ
	産業	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用により、企業の稼げる力を高め、地域経済が活性化する埼玉県へ
	農業・林業	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用により、儲かる農林業を創造する埼玉県へ
	都市整備・建設・公共インフラ	<ul style="list-style-type: none"> スマートなインフラに支えられた魅力的で暮らしやすい埼玉県へ
	教育	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用により、未来を切り拓き、社会の創り手となる人材を育成する埼玉県へ 人生100年時代の生涯を通じた学びを実現し、継続的に活躍できる埼玉県へ
	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用を通じて安心・安全を実現できる埼玉県へ

9. DXビジョンの見方

本ドキュメントにおけるDXビジョンの見方は以下のとおりです。

③ビジョン概要
当該ビジョンにおいて
目指す概要です。

④ビジョン大項目
ビジョン事例をまとめた
内容を、「ビジョン大項目」
として記載しています。

⑤ビジョン大項目イメージ画像
ビジョン大項目のイメージ画像です。

①ビジョン事例へのリンク
リンクをクリックすることで、該当の
ビジョン事例へ画面を移動できます。

⑦ビジョンへのリンク
リンクをクリックすることで、該当の
ビジョンへ画面を移動できます。

DXビジョン※

埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画(R6~R8) 10. DXビジョン詳細




総合ビジョン 対象別ビジョン 分野別ビジョン

総合ビジョン(1/4)

(1)デジタルでつながる <県民・事業者・行政がデジタルでつながる便利で暮らしやすい埼玉県へ>

県民一人一人に合った情報をプッシュ型配信で提供し、欲しい情報・サービスをすぐ検索できるようにします。また、共通IDであらゆる行政サービスを利用できるなど、県民・事業者・行政をデジタルでつなぎ、利便性を高めます。

②ビジョン

一人一人に合った情報やサービスをプッシュ型で提供	一人一人の県民・事業者のニーズや状況に応じ、最適な情報やサービスをプッシュ型で提供できるようにします。	
探したい情報やサービスがすぐに見つかるポータル構築	ポータルサイトやスマートフォンアプリ等を活用して、誰もが求める情報を簡単・安全に探すことができますようにします。	
ID一つで様々なサービスを利用できる環境の整備	マイナンバーカードや共通IDにより、あらゆる行政サービスを利用できるようにすることで、県民・事業者の利便性を高めます。	

それぞれの要望や状況に応じたプッシュ型情報提供

共通IDによる行政サービスの利用

19

DXビジョン事例※

埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画(R6~R8) 11. DXビジョン事例

総合ビジョン 対象別ビジョン 分野別ビジョン

総合ビジョン事例(1/4)

大項目	ビジョン事例	概要
一人一人に合った情報やサービスをプッシュ型で提供	スマートフォンアプリ等によるプッシュ型情報提供	県民一人一人、ターゲットに応じた最適な情報を提供できるようになる。
探したい情報やサービスがすぐに見つかるポータルの構築	法人ポータルによる法人向け情報の一元化 行政情報へのアクセス向上	県から事業者が発信する情報を一元化するとともに、各種マッチングサービスや事業者向け申請手続きを一括管理することができる。 地理情報を一元的に発信するポータルサイトの充実等により、県民が真にアクセスしたい行政情報にワンストップでアクセスできるようになる。
ID一つで様々なサービスを利用できる環境の整備	本人確認を要するサービスでのマイナンバーカード活用 事業者への共通ID(GBizID)によるサービス提供	県が提供する本人確認を要する行政サービスが、公的個人認証を活用して、マイナンバーカード一つでできる。 国が提供するGBizIDで、補助金の申請や入札参加などの事業者サービスを受けることができる。

⑥ビジョン事例(実現された社会のイメージ)
変革した社会において、具体的に実現されている状況を、「ビジョン事例」として想定しています。

47

ビジョン ⇄ ビジョン事例
(相互リンク)

※「DXビジョン」、「DXビジョン事例」は、DX実現をより確実にするために、目指すべきゴールを将来像としてイメージ化したものです。社会情勢や財政状況等により最終的なゴールを見直す場合もあります。

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(1/4)

(1) デジタルでつながる ～県民・事業者・行政がデジタルでつながる便利で暮らしやすい埼玉県へ～

県民一人一人に合った情報をプッシュ型配信で提供し、欲しい情報・サービスをすぐ検索できるようにします。また、共通IDであらゆる行政サービスを利用できるなど、県民・事業者・行政をデジタルでつなぎ、利便性を高めます。

一人一人に合った情報やサービスをプッシュ型で提供

一人一人の県民・事業者のニーズや状況に応じ、最適な情報やサービスをプッシュ型で提供できるようにします。

探したい情報やサービスがすぐに見つかるポータル構築

ポータルサイトやスマートフォンアプリ等を活用して、誰もが求める情報を簡単・安全に探すことができます。

ID一つで様々なサービスを利用できる環境の整備

マイナンバーカードや共通IDにより、あらゆる行政サービスを利用できるようにすることで、県民・事業者の利便性を高めます。



それぞれの要望や状況に応じたプッシュ型情報提供



共通IDによる行政サービスの利用

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(1/4)

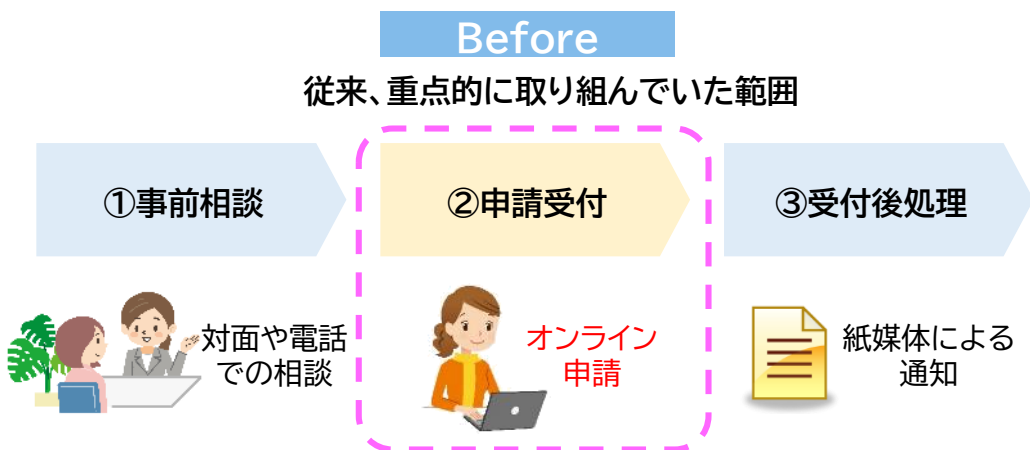
(1)デジタルでつながる ～県民・事業者・行政がデジタルでつながる便利で暮らしやすい埼玉県へ～

(参考)第2期計画における主な取組例

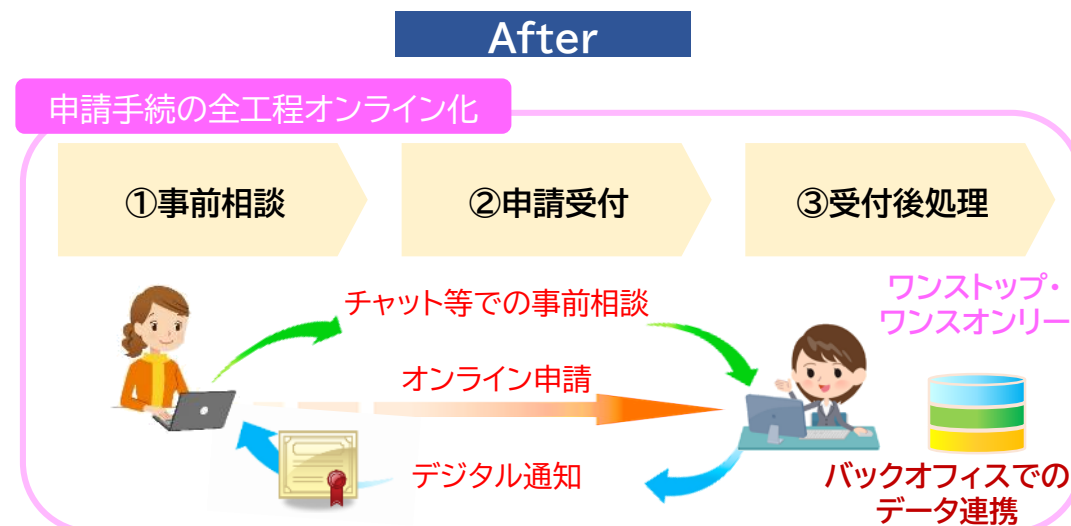
申請手続の全工程オンライン化

これまで本県では、「申請受付」のオンライン化に取り組んできましたが、申請手続の「事前相談」や、申請後に生じる事業変更等の「受付後処理」については、役所に出向くことが必要な場合があります。

今後、県民や事業者の負担をさらに軽減するため、「申請受付」だけでなく、「事前相談→申請受付→受付後処理」までオンラインで完結させるとともに、一度登録した内容の再入力が必要(ワンスオンリー)となるようバックオフィスでのデータ連携に取り組めます。



申請のみオンライン化し、事前相談や通知はアナログ



事前相談から通知までオンラインで完結し、バックオフィスもデータ共有

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(2/4)

(2)官民データの活用 ～様々なデータを活用し、高度なサービスを提供できる埼玉県へ～

官民のデータ・サービス連携を推進するとともに、蓄積したデータを解析・活用することにより、政策立案の高度化を図り、暮らしやビジネスなど様々な分野でニーズを踏まえたサービスを提供できるようにします。

県の保有する情報のデジタル化

ペーパーレス化の徹底など、県業務のアナログからデジタルへの転換を通じて、県の有する情報(データ)のデジタル化を推進します。

官民データ・サービスの連携

官民のデータ連携を可能にする共通データ基盤を通じて、行政・民間のサービスを連携させ、より高度なサービスの提供を目指します。

データの解析・活用

官民が互いのデータを活用し、BIツールやAIなどでデータ解析することにより、政策立案やサービスの高度化を図ります。



埼玉県
オープンデータポータルサイト

埼玉県のオープンデータを一元的・横断的に検索することができるポータルサイト



BIツールなどを活用したデータ解析

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(2/4)

(2)官民データの活用 ～様々なデータを活用し、高度なサービスを提供できる埼玉県へ～

(参考)第2期計画における主な取組例

GISの活用拡大

本県では、これまでも環境、福祉、インフラなど各部門でそれぞれ必要なマップが作成されていました。こうした複数のマップの地理情報を重ね合わせることで、様々な分析が可能になります。

このため、県庁内の地理情報を一つに集約し、ポータルサイトで誰でも手軽に地理情報を閲覧・活用できる仕組みを全庁GIS基盤として整備し、様々な分野の地理情報を一元的に発信していきます。今後、全庁GIS基盤に搭載する地理情報を計画的に拡充するとともに、汎用性の高い地図データの組み合わせ例をパッケージ化して提供するなど、利用者の利便性を高めるサービスを工夫していきます。



10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(3/4)

(3)サイバー空間とフィジカル空間の融合 ～新たな空間で活動やビジネスのチャンスが広がる埼玉県へ～

デジタル技術の活用により、仮想空間での様々なシミュレーションやバーチャル体験を可能にします。また、サイバー・フィジカル空間の融合により、現実空間における様々な制約を解消し、県民・事業者のチャンスを広げていきます。

デジタルツインの実現

3Dデータの活用等により、仮想空間で効率的な工事・管理など多様なシミュレーションや、その結果をリアルサービスに反映できる環境を実現します。

VR等による体験の充実

VR技術等の活用により、デジタル空間において新たな体験や経験ができる環境を実現します。

サイバー⇄フィジカル空間の融合

サイバー(オンライン)とフィジカル(オフライン)を融合させることにより、今までにない新たな体験やイベントができるようにします。



浸水リスクを可視化する3D都市モデル



メタバース空間でのイベント体験

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン(4/4)

(4)デジタルインフラの確立 ～安全で快適なサービスを支えるデジタル基盤が確立した埼玉県へ～

いつでも安心してつながることができ、セキュリティと利便性を両立したデジタルインフラの整備を進めるとともに、クラウド化により災害等にも負けない業務体制を実現し、安全で快適なサービスを安定的に提供できるようにします。

セキュリティと利便性を両立させるDXプラットフォームの実現

安心してサービスを利用できるセキュリティ基盤、様々なデータをつなぐ情報連携基盤など、DXに必要なプラットフォームを整備します。

誰もが安心して利用できるデジタル環境の整備

通信インフラの整備やデジタルデバイドの解消により、住む場所や年齢等に関係なく、高品質なサービスを利用できる環境をつくります。

クラウド化による災害等に負けないシステムの実現

各種システムのクラウド化を進め、災害時等においても業務を継続できる強靱な体制を整備します。



全庁GIS等のデータをつなぐ情報連携基盤の整備



災害時もテレワークにより業務継続性を確保

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

県民サービスビジョン

もっと便利で、安心・安全に暮らしやすい県民サービスが提供される埼玉県へ

県公式SNS等の活用により県民との接点を充実させるとともに、提供するコンテンツやサービスを拡充し、一人一人の状況やニーズに合った最適なサービスを、いつでも手軽に利用できるようにします。

県民との接点の充実

県公式SNS等を活用して行政と県民の接点の充実、双方向のアクセス向上、ワンストップサービスの提供を図ります。

コンテンツやサービスの充実

情報の集約やAI等の活用により、提供するコンテンツやサービスを充実させ、県民の参加・活動を促進します。

県民との接点の充実 コンテンツやサービスの充実



ワンストップでのサービス提供

「手のひら県庁」で
もっと便利で安心・安全に
暮らしやすい社会を実現



埼玉県公式LINE
基本メニュー

県公式SNS(LINE、X、Facebook、Instagram)を活用したきめ細やかで効果的な情報発信

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

事業者サービスビジョン

デジタルの力でビジネスを進化・効率化できる埼玉県へ

事業者のデジタル活用を支援するメニューの充実、円滑に事業を展開できるビジネスプラットフォームの整備とともに、デジタル活用の障壁となる制度の見直しを推進し、デジタルの力でビジネスを進化・効率化できるようにします。

デジタル化支援メニューの充実

デジタル化を促進するための資金・技術的支援、パートナーとのマッチング、情報提供など支援メニューを拡充します。

ビジネスプラットフォームの整備

共通ID基盤や事業者向け情報発信ポータルサイト、GISなどビジネス展開に役立つプラットフォームを整備します。

デジタル活用のための制度の見直し

デジタル活用を拡大するため、阻害要因となる規制の撤廃、リスクを低減するルール整備など制度の見直しを進めます。



事業者向け情報発信ポータルサイトで
中小企業の課題に応じたきめ細やかな
支援策を提供

主な支援メニュー

- ◆ DXコンシェルジュによる相談窓口
- ◆ 埼玉DXパートナーとのマッチング

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

行政事務ビジョン

執務環境の効率化と次世代ワークスタイルの実現によるハイクオリティな埼玉県庁へ

デジタルを基本に業務プロセスを見直し、業務効率を高める次世代ワークスタイルを実現することにより職員のワークエンゲージメントを向上させ、県民・事業者に対して質の高いサービスを提供できるハイクオリティな埼玉県庁へ変革します。

内部事務

業務プロセスのデジタル化

生成AIやノーコードツール等を活用した業務効率化とタスクの仕分け(タスク・トランスフォーメーション)を推進します。

柔軟なワークスタイルへの転換

コミュニケーション基盤を充実させ、テレワークなど柔軟な働き方が可能な次世代ワークスタイルへの転換を図ります。

最適なワークプレイスの整備

業務内容に応じて最適なワークプレイスを選択でき、パフォーマンスが向上する未来のオフィスの検討を進めます。



未来オフィスの検討の推進

窓口事務
手続

行政手続変革

全ての手続がオンラインで完結し、ワンスオンリー、ワンストップ申請が可能となる行政手続改革を推進します。

対面型サービス・窓口の変革

WEBサービスの充実、AIの活用等により、いつでもどこでも相談できる行政サービス・窓口の変革を推進します。



公金収納のキャッシュレス化の推進

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

行政事務ビジョン

執務環境の効率化と次世代ワークスタイルの実現によるハイクオリティな埼玉県庁へ

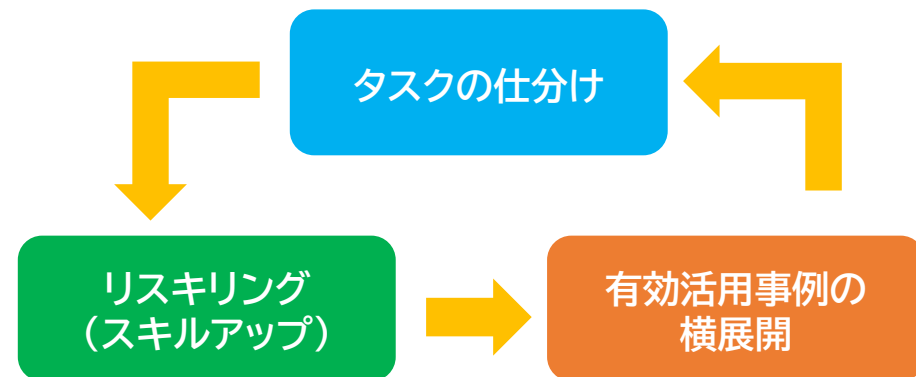
(参考)第2期計画における主な取組例

デジタルツールを活用したTXの推進

■TX(タスク・トランスフォーメーション)とは

「デジタルツールに任せられる仕事」と「そうでない仕事」を仕分け、職員の力を「人にしかできない創造的な仕事」に振り向けることで業務の効率化と県民サービスの充実を目指します。

「タスクの仕分け」に加え、ツールを使いこなすための「リスキリング」や「成功事例の横展開」を三位一体で推進します。



TXに役立つデジタルツールの例

生成AI

チャット形式で入力した質問・指示に対し、自然な文章で回答してくれるサービス。
 利用する場合はクリアランス取得(動画研修+テスト合格)が必要。

音声認識AI

RPA

ノーコードツール

プログラミングの知識がない人も、業務を効率化するシステムを手軽に作成できるツール。
 令和5年度からトライアルを実施中。

ウェブ会議ツール

ドローン・カメラ

スキルアップ

横展開(情報共有)

デジカフェ

DX勉強会

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

行政事務ビジョン

執務環境の効率化と次世代ワークスタイルの実現によるハイクオリティな埼玉県庁へ

(参考)第2期計画における主な取組例

ノーコードツール、生成AIの活用

本県では、さらなる県庁の業務全体の効率化を推進するため、身近な業務アプリを簡単に作成できるノーコードツールや、生成AIを試行導入し、職員自ら業務プロセスの改革に取り組みます。

取組例① ノーコードツールによる業務のデジタル化

ノーコードツールを活用して各課の有用な情報を集約し、組織横断的なデータ活用を実現するデータベースを整備

主な特徴

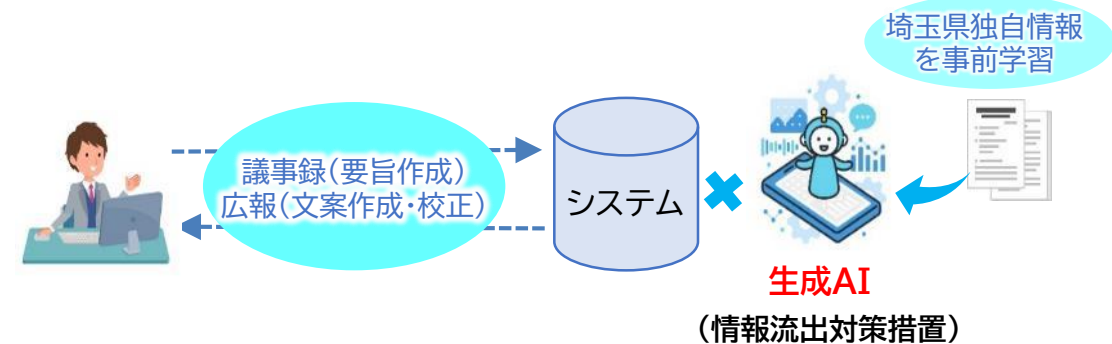
- ・ プログラミングの知識がなくてもアプリを作成可能
- ・ 関係者の間でデータをリアルタイムで共有

取組例② 生成AIによる文書作成

生成AIをシステムに組み込み、埼玉県独自情報の事前学習や入力内容の事前設定をすることで、各種文書作成業務を効率化

主な特徴

- ・ 文書の作成、要約、校正等を効率化、品質も向上
- ・ システムに組み込むことで自動処置も可能



10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

行政事務ビジョン

執務環境の効率化と次世代ワークスタイルの実現によるハイクオリティな埼玉県庁へ

(参考)第2期計画における主な取組例

庁内コミュニティ「デジカフェ」によるデジタル人材育成

本県では、デジタルスキルに関する新しい学びを共有し、人脈を築き、自己研鑽をするコミュニティを職員に提供するとともに、庁内全体のデジタルスキルを向上させるため、庁内コミュニティ「デジカフェ」を令和5年7月に開設しました。

主な活動

- ① メンバー同士の情報交換
- ② デジタルスキルアップを目的としたイベント、勉強会の開催
- ③ 資格取得支援を目的とした過去問題等の定期配信

デジカフェでの多様なコミュニケーションにより、
職員全体のデジタルスキルが向上

デジカフェアドバイザー
(ITスキルあり)



レギュラーメンバー
(登録した職員)



デジカフェマスター
(運営リーダー)



10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

防災ビジョン

デジタル技術を活用し、全ての県民の安心・安全を支える埼玉県へ

デジタル技術の活用により、県民一人一人の防災力を高め、災害時に適切に行動するための情報発信を高度化し、全ての県民の安心・安全を支えます。

迅速な災害関連情報の収集と災害対応

ドローン等のデジタル技術を活用し、迅速かつ正確な情報収集と、適切な災害対応を実現します。

県民等の防災力強化

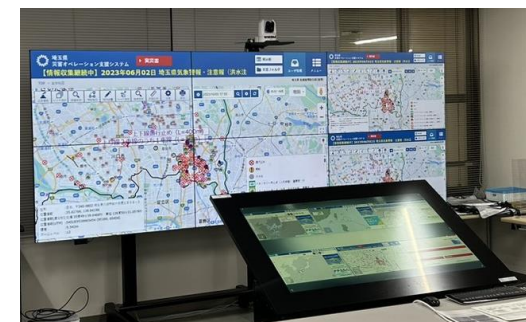
デジタルツールを活用した防災学習や訓練等を通じて、県民一人一人の防災力の強化に取り組みます。

県民一人一人への最適な情報提供

デジタルデバイスを活用し、被災状況のリアルタイム表示など、個々のニーズに合わせた情報を提供します。

土地や建物等の防災力強化

ドローン等の新技術による施設点検等の効率化、センサー・データの活用により、故障や災害の事前予測等を強化します。



デジタル技術を活用した迅速な災害オペレーション



夜間 00:30時点

R4.7.12大雨時
高感度監視カメラによる明瞭な現地状況

新技術を活用した河川情報の充実による水防体制の強化

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

環境ビジョン

デジタル技術の活用によりカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブの構築を進める埼玉県へ

デジタル技術を活用し、温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」、資源の循環利用を促進する「サーキュラーエコノミー」、生物多様性の損失を止めて反転させる「ネイチャーポジティブ」を実現し、持続可能な社会をつくります。

スマート社会実現に向けたまちづくり変革

埼玉版スーパー・シティプロジェクトによりIoT等による生活支援サービス情報の提供、新たなモビリティサービスの導入など、まちづくりの変革を推進します。

エネルギーマネジメントによるカーボンニュートラル

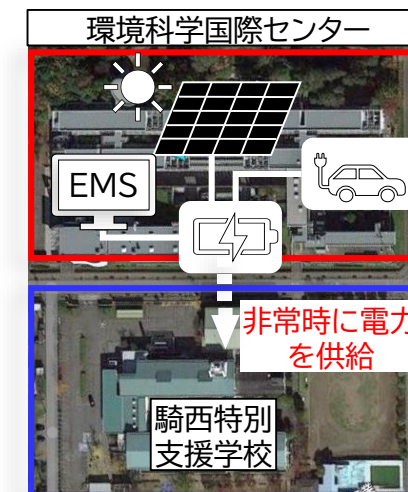
分散型エネルギーリソース、IoTを活用したエネルギーのエリアマネジメントにより、安定的なエネルギー活用等に取り組み、カーボンニュートラルの実現を図ります。

デジタルで人と自然をつなぎネイチャーポジティブへ

様々な環境情報の一元管理や地図情報との連携、デジタルを活用した自然環境の把握等を推進します。

デジタル技術を活用したサーキュラーエコノミー

AIによる需要予測等を活用した食品ロスの削減やシステム管理等により廃棄物を再資源化できる環境を整備し、サーキュラーエコノミーを推進します。



県有施設におけるデジタル技術を活用した再エネ設備の導入



分散型エネルギーリソースとしての電動車(EV、PHV)の導入支援

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

福祉ビジョン(1/3)

(1)AI等の活用により福祉現場の人材確保・定着とサービスの質を向上させる埼玉県へ

AIやロボット等の活用により、福祉現場の職員の業務負担の軽減や業務の効率化を進め、働きやすい職場環境を実現するとともに、サービスの質を高めていきます。

介護・保育現場の負担軽減と
人材の確保・定着

介護・障害福祉の現場でのロボット・AIの積極的活用、保育現場でのICTシステム導入支援により、職員の負担を軽減し、業務効率化を推進します。

介護・保育の質の向上

介護・障害福祉の現場でのICTを活用した健康管理、保育現場でのオンライン診療など、デジタルを活用した介護・保育の質の向上を図ります。



介護支援のためのパワーアシストスーツの普及・拡大



保育園のICTシステム(保育日誌、登園簿など)の導入促進

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉**
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

福祉ビジョン(2/3)

(2)サイバー空間とフィジカル空間が繋がり、障害の有無にかかわらず誰もが活躍できる埼玉県へ

サイバー空間とフィジカル空間が繋がることにより、障害の有無にかかわらず誰もが様々な活動に参画・チャレンジでき、「支える側」「支えられる側」の壁を克服して共に生きていける社会をつくれます。

障害者の就労支援

ICTを活用した在宅就労、分身ロボットの遠隔操作による働く場の創出などにより障害者の就労を支援します。

障害者社会参加の支援

オンラインを活用した障害者アートの魅力発信や、障害当事者による講師等の情報発信により、障害者に対する理解の促進を図ります。



障害者による分身ロボットの遠隔操作



障害当事者による
講演・作品等の情報発信

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

福祉ビジョン(3/3)

(3) デジタルの活用により子供の命が守られ、誰もが希望を持てる埼玉県へ

デジタル技術を活用し、すべての子供が誰一人取り残されず、夢と希望をもって幸せをつかめる社会をつくります。

虐待防止対策の充実

オンラインでの情報共有による包括的な見守り、相談・対応記録のデジタル化による迅速な判断等を推進します。

社会的養護の充実

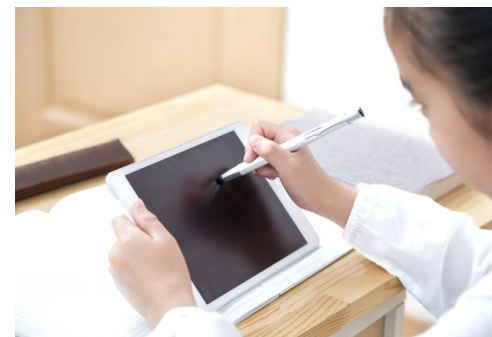
オンラインを活用した学習支援や就学支援、里親の普及促進等により、社会的養護の充実を図ります。

子供の貧困対策の強化

タブレット端末を活用した学習支援や体験支援、食材や物資等のマッチングのシステム化等に取り組みます。



児童相談・対応記録の電子データ化とデータベース化



タブレット端末を活用した学習支援

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

保健医療ビジョン(1/2)

(1)ビッグデータの活用により健康増進への行動変容を促し、誰もが健康な埼玉県へ

蓄積された様々な保健医療データを分析・活用することにより、健康増進に対する行動変容を促し、人生100年を謳歌できる誰もが健康な社会をつくります。

健康増進につながるデータ活用の拡大

パーソナルヘルスレコードやバイタルデータなど、ビッグデータを活用した健康づくりを推進します。

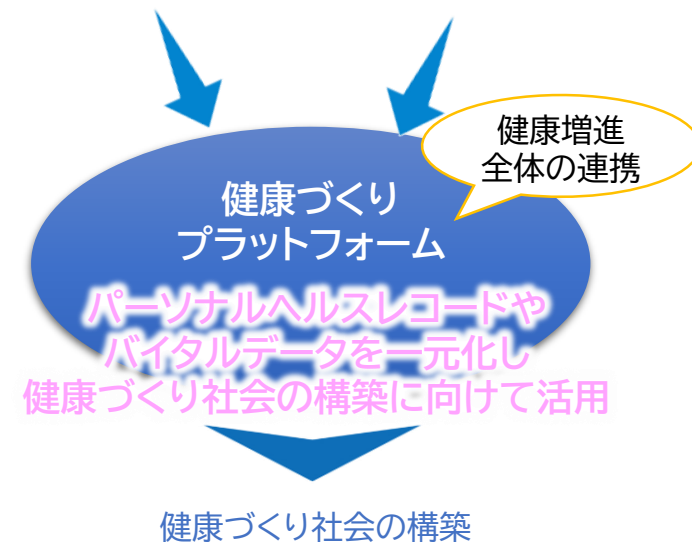
新たな技術を活用した健康管理の推進

カメラやセンサーなどのデバイス活用により、意識せず、こちよく健康管理が行える環境を整備します。

健康づくり社会の構築

様々なデータを分析して、将来の健康状態の予測などを行い、生き生きと暮らせる社会を構築します。

健康増進につながるデータ活用の拡大 新たな技術を活用した健康管理の推進



10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

保健医療ビジョン(2/2)

(2) デジタルの活用により誰もが安心して元気に暮らせる埼玉県へ

生活する場所にかかわらず、どこでも必要な医療サービスを受け、相談できる体制を整えることにより、県民誰もが安心・便利に医療を受けられるようにします。

どこでも医療を受けられる体制づくり

オンライン診療や情報ネットワークの促進により、どこでも医療を受けられる体制を構築します。

いつでもどこでも申請できる環境整備

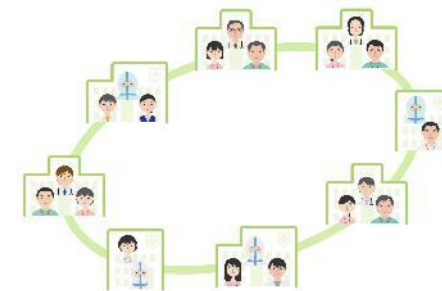
ICT化を推進し、いつでもどこでも申請事務が行える環境を整備します。

どこでも元気に暮らせる環境整備

デジタルデバイスを活用したオンライン保健指導の促進により、どこでも特定保健指導等が受けられる環境を整備します。

感染症等の危機に対応できる体制づくり

データの活用や保健所業務のデジタル化により、感染症等の危機に対応できる環境を整備します。



Tele-ICU(遠隔集中治療支援システム)による重症患者の医療提供体制の構築



オンライン診療の普及促進

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業**
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

産業ビジョン

デジタル技術の活用により、企業の稼げる力を高め、地域経済が活性化する埼玉県へ

急激なビジネス環境の変化等に的確に対応できるよう、県内企業のAIやIoT等のデジタル技術の活用を支援して稼げる力を高め、地域経済の活性化につなげていきます。

手続・ビジネスのデジタル化の拡大

電子申請やワンストップWEBサイトの構築など、手続・ビジネスのデジタル化を拡大します。

ビジネスマッチングの拡大

オンラインビジネスマッチングの推進などにより、デジタルを活用したビジネス機会の拡大を支援します。

企業の生産性・収益力向上

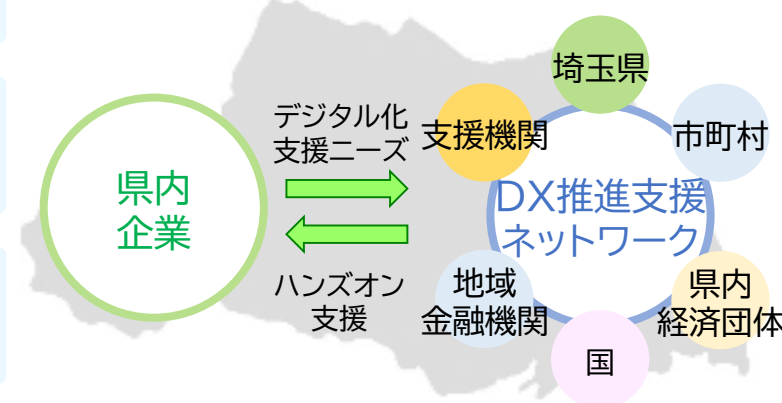
AI・IoT等のデジタル技術の導入、デジタル人材の確保・育成等を促進し、企業の生産性・収益力向上を支援します。

観光関連事業者等のDXの促進

地域の観光協会・DMOや観光関連事業者がデジタル技術でビッグデータを活用し、分析やマーケティングができる体制を整備します。

デジタル技術を活用した観光情報の発信

デジタル技術を活用し、観光客などに対して、属性や嗜好に応じた観光情報の提供を実現します。



関係機関がネットワークを構築し、最適なリソース(専門人材、ノウハウ、設備等)を提供

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業**
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

農業・林業ビジョン(1/2)

デジタル技術の活用により、儲かる農林業を創造する埼玉県へ

デジタル技術を活用することにより、飛躍的に省力化・効率化が進んだ収益性の高い農林業の展開を目指します。

農地情報の変革

デジタル地図を活用した農地・農業施設等管理システムの構築等、手順のオンライン化・簡素化を図ります。

生産現場の変革

デジタルを活用したスマート農業などアグリテックの実証、普及・実装、人材育成等を推進し、作業の効率化・省力化を推進します。

農産物販売・流通の変革

最適な生産・流通・販売システムの構築等、担い手自らバリューチェーンなどの分析ができる環境を整備します。

農業経営の変革

農業機械等が自動取得した情報・データを活用した経営分析、経営展開を担い手自らが実施できる環境を整備します。



スマート農業技術の導入



スマート農業を支える人材の育成

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

農業・林業ビジョン(2/2)

デジタル技術の活用により、儲かる農林業を創造する埼玉県へ

デジタル技術を活用することにより、飛躍的に省力化・効率化が進んだ収益性の高い農林業の展開を目指します。

林業・木材産業の変革

レーザー測量等デジタルを活用した高精度森林情報の把握と情報共有により、施業の集約化・団地化を推進します。

ICT技術を活用した林業機械の自動化による生産性・安全性の向上、作業の省力化・低コスト化を推進します。

木材情報ネットワークを構築し、需給情報の共有と品質確保を図り、県産木材の更なる利用を促進します。

危機管理の変革

ドローン等デジタル技術を活用した被害情報の把握により、災害対応の効率化、迅速化を目指します。



レーザーによる森林の測量



森林クラウドによるデータの共有

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン(1/3)

スマートなインフラに支えられた魅力ある暮らしやすい埼玉県へ

少子高齢化等に備えた「スマート」なまちづくりを展開し、安全・快適で魅力あふれる社会をつくれます。

まちづくり変革

住まい方の変革

県営住宅でIoTを活用した見守り機器の設置等を通じて、住まい方の変革を推進します。

安全なまちづくり

デジタル技術を活用し、浸水被害の見える化や被災後の二次被害防止の体制強化を行い、安全なまちづくりを推進します。

環境にやさしいまちづくり

分散型エネルギーリソースとIoTを活用したエリアマネジメント等により、環境にやさしいまちづくりを推進します。

デジタル都市基盤によるまちづくり

3D都市モデルの活用やGIS等との連携等、デジタル都市基盤を活用したまちづくりを推進します。

魅力あるまちづくり

県営公園でデジタル技術を活用した新たな体験の提供や魅力発信、施設情報の見える化等、魅力あるまちづくりを推進します。

移動しやすいまちづくり

最適な移動方法を簡単に検索、予約ができるようにするなど、移動しやすいまちづくりを推進します。



デジタル技術を活用した体験の提供



3D都市モデルの整備

10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン(2/3)

スマートなインフラに支えられた魅力ある暮らしやすい埼玉県へ

熟練技能者の減少に対処するため、オンライン上でシームレス化した建設生産プロセスの実現など、建設生産プロセスの変革を推進します。

建設生産プロセス変革	施設データ管理変革	インフラの3次元データ化やGIS等との連携により、地理空間情報の活用・オープンデータ化を推進します。
	設計積算プロセス変革	3次元モデル活用による工数計算等の自動化、発注業務の効率化等を推進します。
	工事施工プロセス変革	ICT技術を活用した施工監理を段階的に拡大します。
	建設業の働き方変革	建設キャリアアップシステムの活用促進、建築BIMを推進します。



10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン(3/3)

スマートなインフラに支えられた魅力ある暮らしやすい埼玉県へ

スマートな公共インフラ管理を通じて効率的なメンテナンス・施設管理等を実現し、安心・安全で魅力ある暮らしをデジタル技術で支えていきます。

インフラ
管理
変革

申請等の手続変革

デジタル技術を活用し、各種行政手続のオンライン化を推進します。

施設点検・ メンテナンス変革

ドローン等の新技術による施設点検の効率化、センサーによる劣化データの収集等を推進します。

施設運用管理変革

AI、ビッグデータを活用した運転管理の自動化、点検・調査データのデジタル化等を推進します。



ドローンを活用した法面の測量

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

教育ビジョン(1/2)

(1) デジタル技術の活用により、未来を切り拓き、社会の創り手となる人材を育成する埼玉県へ

急激に変化する社会の中で、児童生徒が自分の長所や可能性を認識でき、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手へと成長できるようにします。

学校という枠を
越えた学び

オンラインを活用したディスカッション、大学や企業との連携、学校間連携による質の高い他校の教員からの指導等、学校の枠を越えた学びを実現します。

個の能力を最大限に
引き出す学び

デジタル教科書、教材の活用により授業の理解を深め、エビデンスに基づく授業等で個の能力を最大限に引き出します。

校務の効率化・
教育活動の充実

教育情報の一元化や、学校のデジタル化・クラウド化等により、校務の効率化や教育活動の充実を図ります。

豊かな人生を切り拓き
持続可能な社会の創り手の育成



10. DXビジョン詳細

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

教育ビジョン(2/2)

(2)人生100年時代の生涯を通じた学びを実現し、継続的に活躍できる埼玉県へ

デジタル技術の活用により、県民一人一人が人生100年時代の生涯を通して自ら学び、能力を高め、継続的に社会で活躍できるようにします。

地域社会での交流・活躍の促進

県民の交流・活躍の機会に繋がる情報を集約し、デジタル技術を活用したマッチングやプッシュ型の情報提供により、地域における県民の交流・活躍を促進します。

新たな学びの創出

デジタルを活用した新たな図書館・博物館サービスの提供や、個人に合わせた講座の情報提供等を推進します。



図書館収蔵資料のデジタル化



デジタルを活用した新しい図書館・博物館サービスの提供

10. DXビジョン詳細

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

安心・安全ビジョン

デジタル技術の活用を通じて安心・安全を実現できる埼玉県へ

デジタルを活用したデータの収集・連携・分析により、犯罪・事故や感染症など県民生活を脅かす様々な問題を解消し、地域の安心・安全を確保します。

犯罪や事故から守る

ネットワーク化したカメラを活用したリアルタイムの状況把握や情報共有等を通じ、県民を犯罪や事故から守ります。

AI等のデジタル技術を活用して、パトロール等の警察活動を効果的に推進し、県民を犯罪や事故から守ります。

細菌・ウイルスから守る

オンライン診療等の促進、データの活用により、県民を感染症から守ります。

鳥獣被害、家畜伝染病から守る

センシング技術や情報共有システムの構築等により、県民を鳥獣被害、家畜伝染病から守ります。



車載ネットワークカメラによる情報共有



デジタルを活用した効果的なパトロール

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン事例(1/4)

大項目	ビジョン事例	概要
一人一人に合った情報やサービスをプッシュ型で提供	スマートフォンアプリ等によるプッシュ型情報提供	県民一人一人、ターゲットに応じた最適な情報を提供できるようになる。
探したい情報やサービスがすぐに見つかるポータル構築	法人ポータルによる法人向け情報の一元化	県から事業者が発信する情報を一元化するとともに、各種マッチングサービスや事業者向け申請手続を一括管理することができる。
	行政情報へのアクセス向上	地理情報を一元的に発信するポータルサイトの充実等により、県民が真にアクセスしたい行政情報にワンストップでアクセスできるようになる。
ID一つで様々なサービスを利用できる環境の整備	本人確認を要するサービスでのマイナンバーカード活用	県が提供する本人確認を要する行政サービスが、公的個人認証を活用して、マイナンバーカード一つでできる。
	事業者への共通ID(GビズID)によるサービス提供	国が提供するGビズIDで、補助金の申請や入札参加などの事業者サービスを受けることができる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン事例(2/4)

大項目	ビジョン事例	概要
県の保有する情報のデジタル化	業務の完全ペーパーレス化	業務が完全にペーパーレスで実施できるようになり、業務で扱う情報が常にデジタルで最新の情報として管理できる。
	WEBデータベースによる無駄のない効率的なデータ管理	クラウドで提供されるWEBデータベースにより、業務プロセスが最適化され、手続のワンストップ化が実現される。
官民データ・サービスの連携	情報連携プラットフォームによる事業間のデータ連携	行政の事業や取組においてそれぞれのデータが連携され、無駄のないより高度な行政サービスが提供される。
データの解析・活用	BIツールによるビッグデータ解析と政策活用	BIツールによりデータを視覚的に分析し、政策判断やサービス向上に利用することができる。
	官民連携によるデータ活用	医療機関や交通事業者などの民間データと行政データを活用することで、新たな行政サービスが提供されている。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン事例(3/4)

大項目	ビジョン事例	概要
デジタルツインの実現	都市、公共インフラの3Dデータ化	ドローン等を活用し、現実世界の3Dデータが収集・整備され、仮想空間上に都市や公共インフラの情報が可視化されている。
	IoT連動のシミュレーション環境の実現	センサー等で収集したデータを基に、仮想空間上でシミュレーションを行うことで、施設や公共インフラの効果的なメンテナンスを行うことができる。
VR等による体験の充実	VRやARによる新たな埼玉県の体験	VRやARを活用し、観光地や動物園など県内各地を新たな形で発信することで、県民がまだ知らない埼玉県を身近に体験することができ、人材育成にも活用することができる。
サイバー⇄フィジカル空間の融合	分身ロボット等による様々なサービスの提供	分身ロボットやアバターを遠隔で操作することで、障害の有無にかかわらず、誰もが働きやすい社会を実現できる。
	仮想空間の活用で体験機会拡充、リアル体験へ誘導	様々なイベントをオンラインや仮想空間を通じて行うことで、新たな魅力を発信し、現実社会における新たな行動を誘導する。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

総合ビジョン事例(4/4)

大項目	ビジョン事例	概要
セキュリティと利便性を両立させるDXプラットフォームの実現	安全なセキュリティ基盤の整備	エンドポイントセキュリティやゼロトラストの実装が進み、働き方改革に適応した、職員がどこでも安全に働けるセキュリティ環境が実現されている。
	情報連携PFの整備	県が保有するさまざまな分野の情報を連携した「情報連携プラットフォーム」を整備する。本基盤には、GIS等の地理的情報活用基盤やポータルサービスを実現する基盤等が提供される。
誰もが安心して利用できるデジタル環境の整備	5G等の高速通信インフラ整備の促進	5Gインフラ等の普及により、高速・大容量・低遅延の通信が広がり、当たり前前にIoTやロボットが活用できる。
	デジタルデバイドの解消	年齢、障害の有無、地域、所得の多寡等を問わず、あらゆる人々がデジタルの恩恵を受けられることができる環境が整備されている。
	市町村でのデジタル化の推進	県と市町村が連携し、市町村でのデジタル化が推進され、行政全体の効率化と県民の利便性の向上が実現している。
クラウド化による災害等に負けないシステムの実現	クラウド活用によるシステム強靱化	業務システムをクラウド化していくことで、庁舎でのデータ保存から脱却し、庁舎被災時でも業務継続できる。
	災害時におけるテレワーク・モバイルワーク活用	テレワークやモバイルワーク推進で、庁舎被災時においても、自宅や他の庁舎、他団体の庁舎などで業務継続できる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

県民サービスビジョン事例

大項目	ビジョン事例	概要
県民との接点の充実	行政情報へのスムーズなアクセス	埼玉県LINE公式アカウントの機能向上により、県民がアクセスしたい情報にワンストップでたどり着くことが可能になる。
	一人一人に合わせた最適な情報の発信	県民のニーズを把握し、ターゲットに応じた最適な情報を提供できるようになる。
	県民の声を集約・活用	県民からの意見や要望など県民の声を集約し、情報提供やマッチングなど県政に効果的に活用できるようになる。
	いつでもどこでも行政手続や相談がワンストップで可能に	AI技術での相談・案内の自動対応や手続のオンライン化などにより、24時間いつでもどこでもワンストップで行政サービスを受けることができる。
コンテンツやサービスの充実	場所や時間を越えた参加・体験	さまざまな行政サービスのオンライン化が進み、個人の環境や状況にとらわれない参加・体験が可能になる。
	最新のデジタルで埼玉の魅力を実感	仮想空間等の最新技術で埼玉の魅力を多方向から発信することで、県内外に埼玉の魅力が伝わり、埼玉に魅力を感じる方が増加する。
	デジタル技術の活用により安心・安全な生活を	ドローンを活用した情報収集やAIによる情報分析などで、より安心・安全な生活が確保できる。
	キャッシュレスの活用	納税や各種手数料の収納など、幅広い場面でキャッシュレスを導入し、効率的な支払いが可能になる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

事業者サービスビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
デジタル化支援メニューの充実	新技術活用の助成によるデジタル活用ビジネスの展開支援	新しいデジタル活用製品の開発のための補助など、デジタルサービスを利用したビジネスの資金的支援メニューが充実している。
	産学官連携による企業が求める人材の確保	産官学が連携してデジタル人材を育成し、新卒社員が即戦力でビジネスでのデジタル活用ができるようになっている。
	デジタル技術の事業活用に向けた技術支援	5Gやロボットなどの新技術の検証支援や、ICT施工やスマート農業など業界で普及している固有技術の活用方法などの技術的支援が充実し、事業リスクが低減され導入が容易になる。
	働きやすい環境の整備	職場環境の整備や働き方の変革など、ビジネスをデジタル化するための環境整備支援が充実している。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

事業者サービスビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
ビジネスプラットフォームの整備	事業者への共通ID(GビズID)によるサービス提供	国が提供するGビズIDで、補助金の申請や入札参加などの事業者サービスを受けることができる。
	GIS等との連携による地図空間データのプラットフォーム・オープンデータ化	現況データや工事竣工データをGIS等で連携し、データを重層化することでインフラに関するマルチタスクが構築される。
	法人ポータルによる法人向け情報の一元化	事業者に必要な情報を一元化するとともに、各種マッチングサービスや事業者向け申請手続を一括管理することができる。
	行政がもつビッグデータのビジネス活用	産業、健康、福祉等の各分野で県が調査・集約・蓄積している様々なビッグデータをビジネスに活用できる。
	マッチングシステム等の事業者・県民をつなぐサービスの提供	マッチングシステムなどが共通化され、様々なシーンで利用できるようになる。
	最適な生産・流通・販売システムの構築	実需者や消費者のニーズ、市場価格などの情報を活用したシステムを構築することで、担い手自らがバリューチェーンなどの分析ができる。
デジタル活用のための制度の見直し	規制等の緩和によるデジタルビジネスの利用拡大	ドローンや自動運転などの利用に際しての法的規制緩和やデジタル活用でのインセンティブのある入札要件など、デジタルビジネスの利用拡大につながる制度へと変化している。
	ビジネスリスク低減やプライバシー保護のためのルール等の整備	事業者のデジタル活用に対するリスク低減のためのルール等が整備され、トラブルや事故などのビジネスリスクを低減し、安心した事業運営ができる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

県民

事業者

行政

分野別ビジョン

行政事務ビジョン事例

大項目	ビジョン事例	概要
業務プロセスのデジタル化	業務のデジタル化・ペーパーレス化/AI等による行政事務の最適化	庁内の業務のペーパーレス化やAI活用等が進み、ほとんどの業務がデジタルで行われるようになる。
	デジタル人材の育成・確保	デジタルを活用できる人材を育成するとともに、必要に応じて外部専門人材の活用を進めるなど適切な人材確保に努め、業務へのデジタル活用が当たり前になっている。
柔軟なワークスタイルへの転換	テレワーク環境の充実	時間や場所にとらわれずテレワークができるようになる。
	コミュニケーション基盤を利用した情報共有	コミュニケーションツール等が整備され、どこでも情報共有が図れるようになる。
最適なワークプレイスの整備	DXを前提としたオフィスの実現	デジタル技術を活用した新たなオフィス環境により、業務に合わせたパフォーマンスを最大限発揮できる業務環境が実現されている。
	行政機関の在り方検討	本庁舎及び地域機関の機能が見直され、全体最適な行政が実現されている。
行政手続変革	オンライン・ワンスオンリー・ワンストップ申請の推進	全ての手続がオンラインででき、ワンスオンリー、ワンストップで申請ができるようになっていく。
	キャッシュレスサービスの普及	納税等がキャッシュレスでできる環境になっている。
対面型サービス・窓口の変革	いつでもどこでも相談可能な窓口	WEBサービスが充実するとともに、AI等によりいつでもどこでも相談可能な窓口になっている。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

防災ビジョン事例

大項目	ビジョン事例	概要
迅速な災害関連情報の収集と災害対応	オペレーションルームの機能強化	デジタルツールを導入し、より迅速な災害対応を行うことができる。
	災害オペレーション支援システムの機能強化	防災関係機関等から災害情報を収集・加工し、迅速かつ適切な災害対応を行うことができる。
	SNSから情報収集	SNSの投稿から身近で発生している被災情報を収集できる。
	ドローン・IoTによるリアルタイム情報収集	ドローンやIoT技術により、遠隔地から迅速に正確な災害状況を把握する。
	官学連携による災害関連情報の活用等に関する研究	大学と連携し、災害時に収集した情報の加工方法等を研究し、災害対応にさらに活用することができる。
県民等の防災力強化	デジタルツールを活用した防災教育・訓練	デジタルツールを活用した防災学習や訓練により一人一人の防災力を高めることができる。
	迅速な被災者の生活再建支援	デジタルツールを活用し、罹災証明発行に不可欠な被害認定調査を迅速に行うことで、被災者の速やかな生活再建に繋げることができる。
県民一人一人への最適な情報提供	災害対応に役立つ情報の充実	身近な地域の災害情報や避難行動に必要な情報等を提供できる。
土地や建物等の防災力強化	新たなセンシング技術による施設管理	ドローン等の新技術による施設点検等の効率化や、新たなセンサー・データ活用による故障や災害の事前予測を実現する。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

環境ビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
スマート社会実現に向けた まちづくり変革	IoT等による生活支援サービス情報の提供	スマートメーターデータとIoT等を活用した生活支援サービスが提供されている。
	新たなモビリティサービスの導入	AI等を活用した新たなモビリティサービスが導入され、高齢者や障害者等の移動しやすさが確保されている。
	グリーンインフラ、再生可能エネルギー施設の普及のためのデジタル都市基盤の活用	再生可能エネルギー施設等の普及を図るため、多様な主体がデジタル都市基盤を活用している。
エネルギーマネジメントによる カーボンニュートラル	エネルギーのエリアマネジメント/ 分散型エネルギーの安定的な活用	分散型エネルギーリソースとIoT等を活用したエネルギーのエリアマネジメントが進み、安定的なエネルギー活用が実現している。
	分散型エネルギーによるレジリエンスの確保	非常時でも途絶えないエネルギーレジリエンスが地域内で確保されている。
	エネルギー使用の最小化	エネルギーの使用管理が徹底され、省エネ住宅・建物等(ZEH、ZEB)の普及が進んでいる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

環境ビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
デジタルで人と自然をつなぎ ネイチャーポジティブへ	環境情報の一元化・行政手続の ワンスオンリー化	各種環境情報が一元的に管理され、行政事務の効率化や申請等のワンスオンリー化が図られている。
	情報アクセスの利便性・危機管理対応 の強化	各種環境情報が地図情報と連携され、県民の情報への容易なアクセスが確保されるとともに、現場対応への遠隔臨場技術の導入等により環境汚染事故等への対応が迅速に図られている。
	センサー等による外来生物の 効率的な捕獲	センサー等により、外来生物が効率的に捕獲されている。
	自然環境情報の把握による 適切な環境の保全	ドローンやAI画像処理により、自然環境の把握と保全が行われている。
デジタル技術を活用した サーキュラーエコノミー	環境配慮行動への誘導	電子ポイント制度等により、環境に配慮したライフスタイルが定着した社会が実現している。
	廃棄物のリサイクル環境の整備	事業者が排出する廃棄物のシステム管理等によりリサイクル環境が整備されている。
	AI等を活用した食品ロス削減	AIによる需要予測や販売マッチングが普及し、事業系食品ロスが削減されている。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

福祉ビジョン事例(1/4)

大項目	ビジョン事例	概要
介護・保育現場の負担軽減と人材の確保・定着	ロボット、AIの介護現場での積極的活用	食事・入浴・排せつ介護のICT化及び見守りセンサーやパワーアシストスーツ等の介護ロボットの普及により、介護業務の負担が軽減される。人間とロボットの役割分担により、介護現場が働きやすい職場環境になる。
	オンラインによる介護人材の確保、バーチャルを活用した介護の魅力PR	オンラインのマッチングにより、介護未経験の子育て中の方や高齢者等が隙間時間を活用して身近な介護事業所で働くことができる。また、仮想空間で介護職員の入職式が開催されるなど、介護職員のモチベーション向上や定着につながっている。
	一気通貫の介護記録請求システムの普及拡大	介護記録から報酬請求までをICT化により一気通貫で処理し、事務処理時間が大幅に改善される。
	障害分野の現場におけるロボット、ICTの普及拡大	職員のパワーアシストを行うスーツや、入所者の睡眠や身体状況を見守るロボット等の普及により、介護業務の負担が軽減される。また、支援記録の作成や情報の共有化などICT機器の普及により、業務が効率化される。現場の労働環境が改善され、職員の定着が図られる。
	保育現場におけるICTシステムの普及拡大	保育日誌や登園簿の作成がICTシステムにより行われ、保育士の定例的業務の負担が軽減される。保護者と保育士の連絡ノートのやり取りがオンラインで行われる。
	AIやチャットボットによる若手保育士への支援	幼児の発達記録や保護者とのやり取りをAIが分析し、AIから若手保育士が適切なアドバイスを受けることで経験不足をカバーする。また、チャットボットによる若手保育士への支援が行われている。
	オンラインによる保育現場と地域の交流	地域の学校と保育施設をオンラインでつなぎ、保育士や子供との交流を通じ、保育士を目指す者を増やす。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

福祉ビジョン事例(2/4)

大項目	ビジョン事例	概要
介護・保育の質の向上	ICTによる安全な環境整備	AIセンサーによる健康管理(睡眠・離床等のバイタルデータの把握)、ICTによる安全管理(遠隔での見守り)が拡大される。
	コミュニケーションロボットによる要介護者の心身機能の改善	コミュニケーションロボットが要介護者の話相手になることで、心身機能が維持・改善される。
	科学的介護データ活用支援	科学的介護情報システムのデータを活用して、科学的に効果が裏付けられた自立支援・重度化防止に資する質の高いサービスが提供されている。
	ICTによる安全な環境整備	ICTや見守りセンサーを活用して園児の安全管理(GPS機能の活用による見守り)や健康管理(検温の自動化)ができる。
	体調悪化時のオンライン対応	子供の体調が悪い場合、保護者とオンライン上で連絡を取り、かかりつけ医又は嘱託医にオンライン診療してもらうことができる。
	開かれた保育施設	保護者が職場等においても、保育施設や子どもの様子を知ることができる。

11. DXビジョン事例

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉**
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

福祉ビジョン事例(3/4)

大項目	ビジョン事例	概要
障害者の就労支援	ICTを活用した在宅就労の支援	障害者がICTを活用してテレワークで働けるよう養成の場が提供され、受付・相談業務等、障害者が特性を生かして働けるようになる。
	分身ロボットによる重度障害者の働く場の創出	重度障害者が分身ロボットを遠隔操作し、飲み物を運んだり、客とおしゃべりしたりするカフェ等ができ、重度障害者が働けるようになる。
障害者社会参加の支援	オンラインによる障害者の活躍推進	障害者のアート作品をオンラインで鑑賞できるサイトを運営し、誰もが時間や場所を問わず障害者アートの魅力に触れることができる。 障害者アートの作品創作風景等の映像をオンライン発信し、身近で鑑賞しながら、障害者への理解を深めることができる。
	ICTによる障害者の活躍推進	障害当事者の講師等の情報を発信することにより、障害者による講演等が行われ、障害に対する理解が深まるなど、社会教育の場で、多くの障害者が活躍している。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

福祉ビジョン事例(4/4)

大項目	ビジョン事例	概要
虐待防止対策の充実	ネットワーク構築による児童虐待防止	登園、登校状況や生活保護の受給状況といった経済状況等の情報をオンラインで共有・把握し、虐待リスクの高い児童を児童相談所のほか多機関が包括的に見守る。
	児童相談所の相談・対応記録のデジタル化	ペーパーレス化を進め、過去の相談履歴等の電子データの検索を迅速に行うことができる。AI音声認識ツールにより自動的に相談記録が作成できる。
	AI活用による一時保護対応	過去例を蓄積したAIによる一時保護の必要性のスコア化等により、迅速に判断が行われる。
社会的養護の充実	児童養護施設等における教育・生活環境の整備	オンラインの環境整備を図ることにより、一時保護中であっても学校教育に参加できる。また、オンラインによって学習支援・就学支援・相談にもつなげ、児童養護施設の子どものハンディキャップが克服できる。
	オンラインを活用した里親の普及促進	里親制度について、平日はオンライン、週末・長期休暇は直接交流する里親を普及し、家族のぬくもりを感じることができる入所児童が増加する。
子供の貧困対策の強化	ICTによる学力格差の解消とデジタル機器を駆使できる子供の育成	タブレット端末を活用した学習支援や体験支援を実施することで生活困窮世帯等の子供たちの学習意欲を向上させることができ、学力格差及び貧困の連鎖が解消される。
	マッチングシステムの導入による子供の居場所づくり支援の活発化	食材や物資等のマッチングがシステム化され、提供者と子供の居場所団体等とのマッチングが迅速に行われる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

保健医療ビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
健康増進につながるデータ活用の拡大	パーソナルヘルスレコードの活用	マイナポータル等に一元管理された健診データなど様々な保健医療データ(パーソナルヘルスレコード)が健康づくりに活用されている。
	バイタルデータの活用	歩数、活動量、心拍数などのバイタルデータを活用した健康づくりができています。
新たな技術を活用した健康管理の推進	こちよく健康管理が行える環境の整備	カメラやセンサーなどデバイスの発達により、意識せずこちよく健康管理が行える環境が整備されている。
健康づくり社会の構築	データに基づく行動変容の促進	様々なデータを分析することにより、将来の健康状態を予測し、生活習慣病等のリスクを明らかにすることで、行動変容を促し、誰もが生き生きと暮らせる社会が構築されている。
	官民連携による健康づくり	ビッグデータを分析し、分析結果を参考に、健康メニューの開発、普及等を行い、知らず知らずに健康になれる仕組みづくりが構築されている。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

保健医療ビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
どこでも医療を受けられる体制づくり	医療提供体制の地域格差・診療科偏在の解消	オンラインによる診療や服薬指導などの遠隔医療を促進することにより、どこに住んでいても安心して医療を受けることができる。
	医療機関間の連携促進	医療情報連携ネットワークの構築促進等により、医療機関間の連携が進み、切れ目ない医療提供体制が整備されている。
いつでもどこでも申請できる環境整備	申請事務のICT化の推進	県民等からの申請事務等をICT化することにより、いつでもどこでも申請ができる。
どこでも元気に暮らせる環境整備	デバイスの発達によるオンライン診療の深化	デバイスが発達することにより、自宅に居ながら医療機関と同様の検査・診療ができる。
	オンライン服薬指導の促進	デジタルを活用することにより、自宅に居ながら服薬指導を受け、薬局へ行かずに薬を受け取ることができる。
	特定保健指導等の機会の拡充	特定保健指導等をオンラインでどこでも実施することにより、生活習慣病の予防を図ることができる。
	相談窓口の充実	デジタルを活用することにより、居場所づくりを行うなど、どこでもひきこもり等の相談を受けることができる。
感染症等の危機に対応できる体制づくり	データに基づく感染症対策の推進	データを活用して、今後の感染症のまん延防止等に対して迅速な対応をとることができる。
	保健所業務のデジタル化	デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップを徹底し、効率的な保健所業務と県民サービスの質的向上が実現できる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

産業ビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
手続・ビジネスのデジタル化の拡大	ペーパーレス化推進	各種申請手続のペーパーレス化・電子申請が進み、ワンストップ・ワンスオンリーのオンラインサービスが実現できている。
	ワンストップWEBサイト構築	事業者の視点に立つUI/UXに優れたワンストップWEBサイトを構築し、各支援機関の支援策や先進事例集等が積極的に活用されている。
	プラットフォーム構築によるビジネスの進化	事業者サービスビジョンで示した「ビジネスプラットフォーム」の整備により、ビッグデータのビジネス活用等が進み、活発なビジネスが展開されている。
	SNSでプッシュ型周知	事業者向けLINEを活用して、事業者にDX関係の有益な情報を届け、常に最新の情報が提供されている。
ビジネスマッチングの拡大	経済発展と社会的課題の解決の実現	イノベーションで創出される新たな価値により、ニーズに対応したモノやサービスを提供することで、経済発展と社会的課題の解決を実現できている。
	オンラインによる販路拡大	オンラインによるビジネスマッチングを推進し、販路が拡大している。
企業の生産性・収益力向上	最新技術の積極導入	5G・デジタルツイン・ロボットなど企業が最新の技術を導入し、新製品の開発や生産性の向上が図られている。
	経営層の意識改革とデジタル人材確保	単なる効率化にとどまらずデジタル技術の活用による経営戦略の練り直しが重要であることを経営層が十分理解している。企業が求めるデジタル人材を確保できている。
	ニーズに対応した最適な支援	企業のニーズに対応した最適なデジタル技術に関する支援を実施し、業務の最適・効率・省人化が図られ、収益が向上している。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

産業ビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
観光関連事業者等のDXの促進	観光DMPの整備	地域の観光協会・DMOや観光関連事業者が観光戦略づくりや販売促進、誘客促進などに有効なツールであるDMP(Data Management Platform)を構築し、活用されている。
	観光関連事業者等のデジタル技術の活用が拡大	観光関連事業者等がDMPやGoogle Business Profile等を活用したマーケティングを行っている。
デジタル技術を活用した観光情報の発信	ターゲティング広告やSNSプッシュ通知を活用した観光情報の提供	WEBの検索履歴や位置情報を利用して、観光客などの属性や嗜好に応じた観光情報が提供されている。

11. DXビジョン事例

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン**
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業**
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

農業・林業ビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
農地情報の変革	デジタル地図を活用した農地・農業施設等管理システムの構築	簡単に規模拡大や新規参入の場所を探ることができる。各種手続のオンライン化・簡素化を図ることができる。
生産現場の変革	デジタル技術を活用した更なるスマート農業の実証、普及・実装	農業機械や施設管理システムの遠隔操作、自動運転など、最先端技術の実証、普及・実装のほか、スマート農業に対応できる人材を育成することにより、更なる作業の効率化・省力化を図ることができる。
	メーカー・ICT企業等との連携による技術開発	AI予測技術やロボットなど、メーカー・ICT企業等の持つ最先端技術と担い手自らが培った匠の技術を融合し、新たな生産・営農技術を創出する。
農産物販売・流通の変革	最適な生産・流通・販売システムの構築	実需者や消費者のニーズ、市場価格などの情報を活用したシステムを構築することで、担い手自らがバリューチェーンなどの分析ができるようになる。
農業経営の変革	データを活用した経営分析、経営展開を担い手自らが実施	農業機械などが自動取得した情報を含めAIを活用することで、パソコンやスマートフォン上で簡単に経営状況が確認できる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

農業・林業ビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
林業・木材産業の変革	高精度のデータ共有による施業地の集約促進	レーザー測量、ドローン測量による精度の高い森林情報の把握及び森林クラウドによる当該情報の共有により、施業の集約化・団地化を促進することができる。
	ICT技術を活用した作業の省力化・低コスト化	ICT技術を活用した林業機械の自動化による生産性・安全性の向上や、計画から伐採・出材情報をリアルタイムで管理するシステムの導入により、生産性・経営力の向上を図ることができる。
	木材情報ネットワークを活用した木材利用推進	木材情報ネットワークが構築され、需給情報の共有及び品質確保が可能になることにより、県産木材利用のさらなる推進を図ることができる。
危機管理の変革	農林業施設災害対応の効率化・迅速化	ドローンで収集した3次元データを活用することで遠隔地から被害状況の確認ができる。
	家畜衛生情報共有システムの構築	家畜伝染病発生時における作業動線、重機使用エリア等が容易に把握でき迅速な防疫対応ができる。
	センシング技術を活用した病虫害被害、鳥獣被害への対策	病虫害被害の発生状況を把握、予測することで早期にまん延防止を図ることができる。また、鳥獣の生息域や捕獲情報を自動でマッピングすることにより効率的な対策や捕獲ができる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン事例(1/4)

大項目	ビジョン事例	概要
住まい方の変革	誰もが安心して暮らしやすい住まい	県営住宅でIoT見守り機器の設置等を進めることで、便利で安心して暮らせる住まいが実現できる。
安全なまちづくり	水防情報システム等の活用による災害時リスク低減	水防情報システム等により災害対応の迅速化・効率化が図られる。
	デジタルツールの導入等による二次被害防止の体制強化	被災後の宅地・建物の危険度判定活動が円滑に実施される。
環境にやさしいまちづくり	エネルギーのエリアマネジメント	分散型エネルギーリソースとIoT等を活用したエリアマネジメントが進んでいる。
	エネルギー使用の最小化	エネルギーの使用管理が徹底され、省エネ住宅・建物等(ZEH、ZEB)の普及が進んでいる。

11. DXビジョン事例

- 総合ビジョン
- 対象別ビジョン
- 分野別ビジョン
- 防災
- 環境
- 福祉
- 保健医療
- 産業
- 農業・林業
- 都市・建設・公共
- 教育
- 安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン事例(2/4)

大項目	ビジョン事例	概要
デジタル都市基盤によるまちづくり	デジタルツイン等を活用した都市構造解析	3D都市モデル等をオープンデータとすることで、多様な主体がシミュレーションを行うなど、デジタル都市基盤を活用したまちづくりが実現される。
	GIS等との連携による地図空間データのプラットフォーム・オープンデータ化	3D都市モデルやインフラ関連データをGISと連携し公開することで、都市の情報を視覚的に分かりやすく情報提供を行う。
魅力あるまちづくり	ローカル5GやIoTを活用したエンターテインメントコンテンツの提供	最新スマート技術を活用した多様な主体による公園等の運営により、新たな体験が提供できる。
	VR・ARを活用した魅力発信	県営公園などにおいて、疑似体験ができるコンテンツを使えるようになる。
	デジタルサイネージ等による施設情報の見える化	施設内の混雑状況や広告、誘導案内等がデジタルサイネージ等により提供される。
移動しやすいまちづくり	最適な移動方法を簡単に検索、予約	最適な移動方法を簡単に検索、予約できるようになり、公共交通での移動の利便性が向上する。
	高齢者や障害者等が移動しやすい環境の実現	新たなモビリティサービスが導入されることなどで、高齢者や障害者等が移動しやすくなる。
	自動運転技術を生かした移動	自動運転の技術革新の活用により、省人化、効率化が図られ、公共交通による移動が確保される。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン事例(3/4)

大項目	ビジョン事例	概要
施設データ管理変革	GIS等との連携による地図空間データのプラットフォーム・オープンデータ化	現況データや官・民の工事竣工データをGIS等で連携し、データを重層化することでインフラに関するマルチタスクが構築される。
	インフラの3次元データ化による施設管理	道路や河川の形状、建築物を3次元データ化することによってモデル構造の検討など工事設計等が合理化される。
設計積算プロセス変革	工事の数量・工数計算等の自動計算	3次元モデルの活用などによる工数計算の自動化など、設計積算業務が効率化される。
	工事積算・発注関係業務の効率化	設計積算システムと様々なデータとの連携などにより業務が効率化される。
工事施工プロセス変革	ICTの全面的な活用による建設工事の省人化	段階的にICT施工工事を拡大していくことで、省人化するとともに、熟練技術者の減少下においても品質が統一化される。
	AI・IoT活用による建設現場の安全確保や効率化	ウェアラブルカメラと連携したリモート検査などにより、スマートで安全安心な施工監理となる。
建設業の働き方変革	建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用促進	建設業に関わる技能者の情報を一元化することで技能者の適正な評価や建設事業者の業務負担軽減、人材管理が効率化される。
	建築BIMの推進による生産性の向上	建築BIMの推進により、設計・施工時における労働生産性が向上し、魅力ある業界になる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

都市整備・建設・公共インフラビジョン事例(4/4)

大項目	ビジョン事例	概要
申請等の手続変革	申請等の手続のオンライン化	各種行政手続のオンライン化により、行政サービスの向上と行政事務の合理化が図られる。
施設点検・メンテナンス変革	ドローン等の新技術による施設点検等の効率化	デジタル化により熟練の点検技術者の減少等に対処した省人化、施設管理のスマート化が図られる。
	小型センサー設置による劣化データ収集	センサーからのデータ管理により、隠蔽部分の状況が可視化され、劣化状況の把握が効率化される。
	BIM/CIM、AI等の活用による劣化状況を踏まえた修繕方法導入	BIM/CIMに記録された点検結果や修繕情報、材料特性のAI解析により、劣化状況に応じた時期・方法で修繕が行われ、ライフサイクルコストの縮減が図られる。
施設運用管理変革	AI、ビッグデータを活用した運転管理の自動制御	AIやビッグデータを活用することで、運転管理を自動化し、水質や水需要の変化へのスピーディーな対応と運転管理の効率化を実現する。
	水防情報システム等の活用による災害時リスク低減	河川管理施設の操作支援システムの導入により災害対応の迅速化、効率化が図られる。
	水量のリアルタイムモニタリングとクラウド化	水量データのリアルタイムモニタリングやクラウド化によって、災害・異常時への迅速な対応や、データ集約による維持管理の効率化を図る。
	点検・調査データのデジタル化	点検調査データのプラットフォーム管理により維持管理の高度化、効率化が図られる。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

教育ビジョン事例(1/2)

大項目	ビジョン事例	概要
学校という枠を越えた学び	世界とつながるグローバルな学びの実現	オンラインによりSDGsなど世界的な課題に対するディスカッション等を通して、国境を越えた協働的な学びができています。
	外部人材の知見を活用した学びの実現	一人一人の興味・関心や能力等に応じて、オンラインで多くの知見を持つ専門家の指導により高度な知識の習得ができています。
	大学や企業と連携したデジタル人材の育成	大学や企業と連携し、データサイエンス・AIリテラシー等の新しい時代に必要な知識を習得できている。
	学校間の連携による学校の枠を越えた学びの実現	学校や地域の枠を越え、オンラインを活用し、質の高い他校の教員の指導を受けることができています。
個の能力を最大限に引き出す学び	理解が深まる学びの実現	デジタル教科書、教材の活用により、音声や立体画像を活用した児童生徒の理解が深まる授業が展開されている。
	理解度に応じた個別最適な学びの実現	スタディ・ログ等のエビデンスに基づき、一人一人の理解度にあった学習ができています。
	多様な生徒に応じた学ぶ機会の拡充	日本語指導の支援が必要な場合などにオンライン学習等により必要な知識を学ぶことで、主体的に社会に関わることができています。
	児童生徒の学ぶ機会の拡充	長期入院や不登校等で通学できなくなっても、オンライン学習等により継続的に学びができています。
校務の効率化・教育活動の充実	教育情報の一元化による情報共有の効率化	学習履歴など児童生徒に関する情報が一元化され、小学校、中学校、高等学校と切れ目のないきめ細かな指導のための情報共有が効率化されている。
	学校のデジタル化・クラウド化による校務の効率化	デジタルライゼーションツールなどにより校務の効率化、教材の共有化、ペーパーレス化ができています。また、学校会計のキャッシュレス化ができています。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

教育ビジョン事例(2/2)

大項目	ビジョン事例	概要
地域社会での交流・活躍の促進	地域社会における交流・活躍の場の拡大	県民が活用したい能力と地域社会や学校、企業などが求める能力の情報が集約され、デジタル技術を活用したマッチングにより、地域での交流機会や活躍の場が大きく広がっている。
	同じ知識・技能を有した仲間同士の交流の促進	プッシュ型で提供する情報などを通じ、同じ知識・技能を持つ仲間の交流する場が見つかり、地域社会と交流が図られている。
	場所を問わない学習・交流の場	VRにより家にいながら、キャンプなどの疑似体験を通じた学習ができています。デジタルを活用して、バーチャルな空間での交流ができています。
	子供の貧困対策の強化	オンラインを活用した学習支援により貧困の連鎖が解消されている。
新たな学びの創出	デジタルを活用した新しい図書館サービスの提供	来館しなくても、図書館サービスを受けることができる。県内のデジタル地域資料を保存・公開するアーカイブにより、ウェブからワンストップで求める資料にアクセスできる。
	デジタルを活用した新しい博物館サービスの提供	身近な文化財をいつでも・どこでも・誰でも学び、楽しめる環境がデジタル上に構築されている。
	個人に合わせた講座の情報提供	デジタル技術の活用により、学習歴や個人の知識・技能に応じて、関連した講座などがおすすめとして情報提供される。

11. DXビジョン事例

総合ビジョン

対象別ビジョン

分野別ビジョン

防災

環境

福祉

保健医療

産業

農業・林業

都市・建設・公共

教育

安心・安全

安心・安全ビジョン事例

大項目	ビジョン事例	概要
犯罪や事故から守る	デジタル化による警察力の現場シフト	先端デジタル技術の活用や各種業務管理システムの最適化により、最大限の警察力を現場にシフトできる。
	県民と警察を繋げるデジタル環境の整備	スマートフォンアプリやSNS等の活用により、事件の目撃情報等の協力を得ることができる。
	AIとIoTの活用による警察活動の高度化	IoTを活用した防犯カメラ映像等のデータ収集やAIによるデータ解析により、犯罪行為の自動検知や効果的なパトロール活動など、高度な警察活動を行うことができる。
細菌・ウイルスから守る	オンライン診療等の促進・深化	オンライン診療等の促進で、場所にとらわれることなく安心して医療を受けることができる。
	データに基づく感染症対策の推進	データを活用して、感染症のまん延防止等迅速な対応をとることができる。
鳥獣被害、家畜伝染病から守る	デジタルによる鳥獣被害対策や防疫体制の強化	センシング技術で鳥獣の生息域や捕獲情報を把握できる。 家畜伝染病の発生に備えた情報共有や迅速な対応ができる。

12. 用語集(A～D)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
AI	Artificial Intelligenceの略で、人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。
AR	Augmented Realityの略。目の前にある現実世界にコンピューターで作られた映像や画像を重ね合わせ、現実世界を拡張する技術。
BIM/CIM	Building/Construction Information Modeling, Managementの略であり、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ること。
BIツール	ビジネスインテリジェンスツールの略。情報システムなどに蓄積される大量の業務データを利用者が自らの必要に応じて分析・加工し、業務や行政の意思決定支援に活用することができる。
DMO	Destination Management/Marketing Organizationの略であり、観光地域づくり法人を意味する言葉。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と共働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人を指している。
DX	デジタル(Digital)と変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語で、様々なモノやサービスがデジタル化により便利になったり効率化され、その結果デジタル技術が社会に浸透することで、それまでには実現できなかった新たなサービスや価値が生まれる社会やサービスの変革。狭義では、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変することをいい、企業が外部エコシステム(顧客、市場)の劇的な変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、従業員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい製品やサービス、ビジネスモデルを通して、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること。

12. 用語集(E～S)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
EV	Electric Vehicle(電気自動車)の略。BEV(Battery Electric Vehicle)とも言う。動力源の100%が電力である電動車のこと。
GIS	コンピュータ上で様々な地理空間情報を重ね合わせて表示するためのシステムのこと。
Google Business Profile	Googleのビジネスプロフィールを作成することにより、Google検索およびマップで検索したユーザーに対して、アピールすることができる無料のサービスのこと。
GビズID	デジタル庁が提供するサービスで、事業者が1つのアカウントにより複数の行政サービスにアクセスできる認証システム。
ICT	Information and Communications Technologyの頭文字を取ったものであり、情報通信技術のこと。
IoT	Internet of Things(モノのインターネット)の略で、自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すというコンセプトを表した語。
PHV	Plug-in Hybrid Vehicle(プラグインハイブリッド自動車)の略。外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車のこと。
SNS	Social Networking Service(Site)の略で、個人間の交流を支援するサービス(サイト)で、参加者は共通の興味、知人等を基に様々な交流を図ることができる。例えば、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築したりする場を提供する。

12. 用語集(T～Z)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
UI	User Interfaceの略。ユーザーとサービスをつなぐもので、ユーザーが操作する画面だけでなく、マウスやキーボード、タッチ画面など、直接、見たり触れたりして接する部分のこと。
UX	User Experienceの略。ユーザーが商品やサービス、サイトを通じて得られる体験や経験のこと。
VR	Virtual Realityの略。現実にはない世界又は体験し難い状況をCGによって仮想空間上に作り出す技術。
ZEB	Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略で、先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制や、自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物のこと。
ZEH	Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、高断熱・高气密化、高効率設備によって使うエネルギーを減らしながら、太陽光発電などでエネルギーをつくり出し、年間で消費する住宅の正味エネルギー量がおおむねゼロ以下になる住宅のこと。

12. 用語集(あ～お)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
エネルギーレジリエンス	平時には需要家を含む社会に対して所要のエネルギーを安定的に供給するとともに、有事には自然的・人為的災害を始めとした様々なショックがエネルギーの供給支障を生じた場合に、それが人命・資産や経済活動及び社会にもたらす影響を低減するための、災害等の発生前後における、ハード・ソフト面での安全性・堅牢性及び迅速な停止復旧能力のこと。
エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組のこと。
エンドポイントセキュリティ	サーバー、パソコン、スマートフォンのような末端の端末(エンドポイント)において、エンドポイント自体やエンドポイントに保存されてる情報をサイバー攻撃から守るためのセキュリティ対策のこと。
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるよう、 ①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの ②機械判読に適したもの ③無償で利用できるもの といういずれの項目にも該当する形で公開されたデータのこと。

12. 用語集(か～こ)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※から、植林、森林管理などによる「吸収量」※を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。 ※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なもの。
科学的介護情報システム	介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報システムのこと。
仮想空間	インターネット上に構築される仮想の3次元空間のこと。サイバー空間と同義。
観光DMP	観光統計や調査データ及び観光に関するビックデータ集約し一元管理することで、常時最新の観光データを活用できるプラットフォームのこと。
官民データ活用推進基本法	官民データ利活用のための環境を総合的かつ効率的に整備するための法律。平成28年12月公布・施行。
クラウド(クラウドサービス)	利用者が手元のコンピューターで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するサービス。雲(クラウド)の中にシステムがあるかのように、提供されるシステムの物理的なコンピューター(サーバー)の所在地が意識されないことからこのように呼ばれている。
建設キャリアアップシステム	技能者の資格や現場での就業履歴等を登録・蓄積し、技能・経験が客観的に評価されることで、技能者の適切な処遇につなげるための仕組みであり、これにより、(1)若い世代がキャリアパスや処遇の見通しをもてる、(2)技能・経験に応じて給与を上げる、(3)技能者を雇用し育成する企業が伸びていける建設業を目指し、建設業共通の制度インフラとして、建設業団体と国交省が連携して官民一体で推進している。
コネクテッド・ワンストップ	民間を含む複数の手続き・サービスをワンストップで実現すること。
コミュニケーションロボット	人工知能の進歩により、会話をしたり、ダンス・体操を一緒にしたり、クイズ・ゲームの相手をしたりするロボットのこと。ロボットとのコミュニケーションによる脳への刺激が認知症予防につながったり、ちょっとした運動を行うことで筋肉の萎縮や衰えを予防して寝たきり防止につながったりする効果が期待されている。

12. 用語集(さ～そ)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
サーキュラーエコノミー	生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動のこと。
埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画	埼玉県の行政サービス及び行政事務のデジタル化による社会変革を目指す計画。官民データ活用推進基本法第9条第1項に規定する、当該都道府県の区域における官民データ活用の推進に関する施策についての計画としても位置付けられる。
サイバー空間	主にコンピューターやネットワークによって構築された仮想的な空間のこと。
自動運転	乗り物や移動体の操縦を人の手によらず、機械が自立的に行うシステム。搭載される技術によって0～5までのレベルに分けられている。
森林クラウド	森林資源情報を一元的に管理するシステム。森林簿や森林基本図等の情報をデジタル化して、標準化とクラウド化を進め、自治体間の連携、林業経営体へのデータ提供を効率的に行うことができる。
スーパーシティ	国家戦略特区制度を活用し、未来社会での生活全般にまたがる包括的なサービスの実装を目指す「まるごと未来都市」。
スマートメーター	通信機能を備え、自動検針等が可能なメーターのこと。
3D(スリー・ディー)都市モデル	建築物、道路、土木構造物等の現実の都市に存在する様々なオブジェクトの3次元形状と意味情報をパッケージとして記述した地理空間データのこと。
生成AI	人間が入力した質問・作業指示(プロンプト入力)等に応じて文章・画像等を生成するAIのこと。
ゼロトラスト	厳しいID検証プロセスに基づいたネットワーク・セキュリティ・モデルのこと。内部のネットワークは安全であるという前提に立たずに、認証や許可を受けたユーザーおよびデバイスのみがアプリケーションやデータにアクセスできるようにするというセキュリティの考え方。

12. 用語集(た～と)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
タスク・トランスフォーメーション(TX)	タスク(task)と変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語で、デジタルと人間、それぞれに適したタスクを見極め、業務の更なる効率化とサービス向上を目指すこと。
チャットボット	チャット(会話)とボット(ロボット)を組み合わせた言葉。
通信インフラ	社会基盤として敷設、運用される通信回線や通信機器、施設などの総体のこと。
デジタイゼーション	デジタル化と略されるが、紙など手作業等で行っていたことをデジタル技術に置き換えて、効率化を図ったり、生産性を向上させたりすること。
デジタライゼーション	デジタル技術を使って、ビジネスモデルを変革したり新たな仕組みを創出すること。
デジタルサイネージ	公共空間や交通機関等の様々な場所でディスプレイ等の電子的な表示機器を使って情報発信を行うシステムのこと。
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。
デジタル人材	デジタル技術に関する知識を有し、自社や顧客に対してデジタルによる業務やサービスの推進や牽引ができる人材。
テレワーク	ICTを活用し、サテライト勤務、モバイル勤務、在宅勤務 等、場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方。
ドローン	無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称。

12. 用語集(な～ほ)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
ネイチャーポジティブ	生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること。
ノーコードツール	システム構築に必要なプログラム(ソースコード)を記載せずに、作業を効率化するアプリケーションを簡単にすることができるツール
パーソナルヘルスレコード	個人の健康診断結果や服薬歴等の健康等情報を電子記録として本人や家族が正確に把握するための仕組みのこと。
バイタルデータ	人が生存を表す指標をバイタルサインと呼び、バイタルデータとは、それらをデータ化したもののこと。主に脈拍、血圧、呼吸、体温などがある。
バリューチェーン	企業の様々な活動が最終的な付加価値にどのように貢献しているのか、その関係を示す考え方のこと。農林水産物においては、生産から製造・加工、流通、消費に至る各段階の付加価値をつなぐことによる、食を基軸とした付加価値の連鎖を意味する。
パワーアシストスーツ	パワーアシストスーツ(外骨格(exoskeleton)ともいう)は、身体に装着し、装着者又は作業対象に対して作用することで、身体動作の支援、身体機能の改善・治療等を行うもの。
ビッグデータ	ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。例えばソーシャルメディア内のテキストデータ・画像、携帯電話・スマートフォンが発信する位置情報、時々刻々と生成されるセンサデータなどがある。
5G(ファイブ・ジー)	「超高速」だけでなく、「超低遅延」「多数同時接続」といった特長を持つ新しい移動通信システムのこと。日本では、平成31年4月に周波数割当てを実施し、令和2年3月から商用サービスが開始された。
分散型エネルギーリソース	需要家の受電点以下に接続されているエネルギーリソース(発電設備、蓄電設備、需要設備)、および系統に直接接続される発電設備、蓄電設備を総称するもの。
分身ロボット	移動の制約があっても「行きたい場所」にロボットを置くことで、その場の風景を見たり、その場の会話に、声や身振りでリアクションをするなど、あたかもその人がその場にいるようなコミュニケーションが可能となるロボットのこと。

12. 用語集(ま～ん)

A～D

E～S

T～Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～ほ

ま～ん

用語	用語の略・解説
マイナンバーカード	プラスチック製のICチップ付きカードで券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー(個人番号)と本人の顔写真等が表示されたもの。本人確認のための身分証明書として利用できるほか、自治体サービス、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請等、様々なサービスにも利用できる。
モバイルワーク	テレワークの一つの種類で、施設に依存せず、いつでも、どこでも仕事が可能な状態なもの。電車や新幹線、飛行機の中等で行うもの、移動の合間に喫茶店などで行うものも含み、業務の効率化に繋がる。
リスキリング	新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること。
ローカル5G	携帯電話事業者による5Gの全国サービスと異なり、地域や産業の個別ニーズに応じて、地域の企業や地方自治体などの様々な主体が自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築できる5Gシステムのこと。
ワークエンゲージメント	仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として、「仕事から活力を得ていきいきとしている」(活力)、「仕事に誇りとやりがいを感じている」(熱意)、「仕事に熱心に取り組んでいる」(没頭)の3つが揃った状態のこと。
ワンスオンリー	行政手続などにおいて一度入力した情報は、原則再度の提出を求めないこと。
ワンストップ	一度の申請で、複数の手続を同時に処理したり、手続間でデータを連携して一連のサービスを一括で対応すること。



埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画（第2期 R6～R8）

発行 令和6年3月

埼玉県

〒330-9301さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-2121

FAX 048-830-4712

E-mail a2440-13@pref.saitama.lg.jp